LIXIL

取付説明書

Gフレーム オーニング

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。

■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

■安全に関する記号と説明

⚠ 警告　・取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。

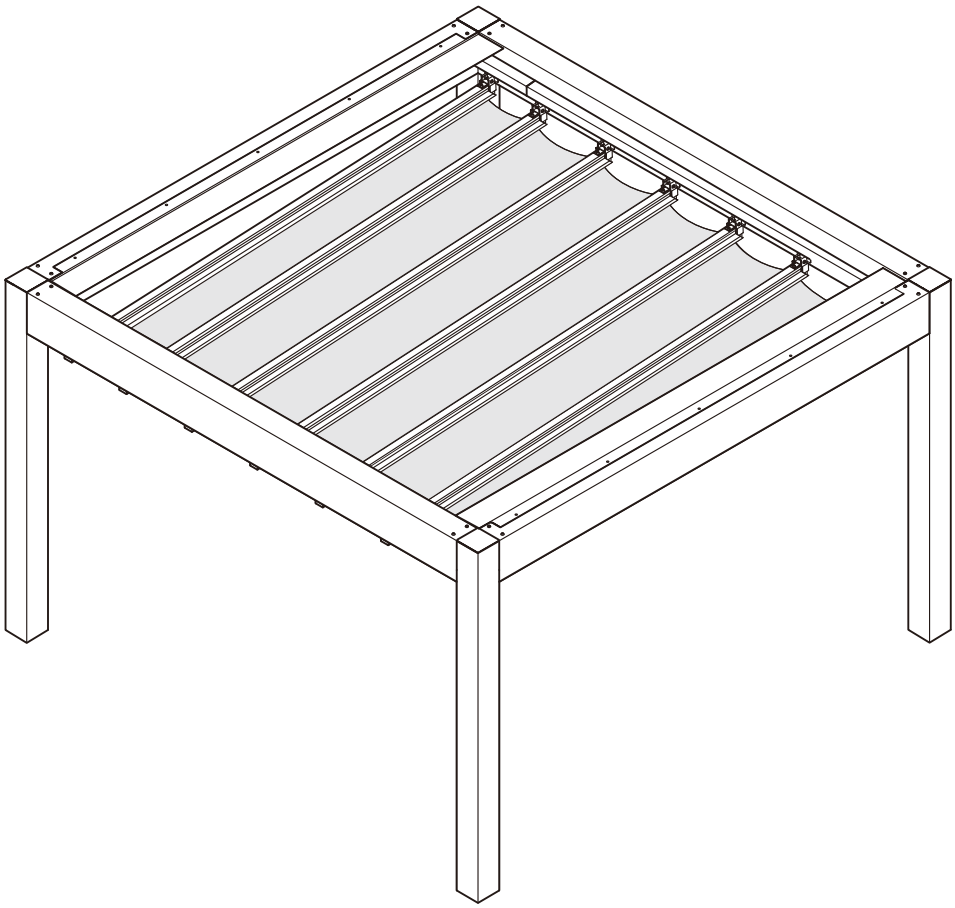
⚠ 注意　・取付けを誤った場合、使用者などが中程度の損傷・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

■情報に関する記号と説明

施工上のお願い
・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

■ネジ等の締結部品の記号

ネジやナット等の締結部品を記号で示してます。（例：1a、1b、2a等）
締結部品の種類は「 **■ 梱包明細表** 」を参照してください。



■目次

施工上の注意 …… 3
施工の前に …… 3
施工上のご注意 …… 3
基礎工事について …… 4
施工の後に …… 4
チェックリスト …… 5
梱包明細図 …… 6
施工の流れ …… 8
1 施工の前の重要確認事項 …… 9
1-1 柱の垂直、フレームの直角 …… 9
1-2 呼称寸法「W」、「L」 …… 9
1-3 ロープの取付け …… 9
1-4 フレームの接続方法について …… 9
1-5 取付け不可条件 …… 10
2 各部の名称と基本寸法 …… 13
2-1 各部の名称 …… 13
2-2 基本寸法 …… 14
2-3 特殊連棟パターン …… 16
3 施工前準備 …… 21
3-1 ローラー金具の準備 …… 21
3-2 ボトム材の準備 …… 22
3-4 キャンバスの準備 …… 22
4 オーニング本体の施工 …… 23
4-1 レール材の取付け …… 23
4-2 ローラーの取付け …… 24
4-3 レール材カバーの取付け …… 25
4-4 フロントカバーの取付け …… 26
4-5 縦横ローラーの取付け …… 27
4-6 ロープ引っ掛け金具の取付け …… 28
4-7 ロープの配線 …… 29
4-8 ボトム材の取付け …… 34
4-9 キャンバスの取付け …… 35
5 仕上げ …… 37
5-1 キャンバスの調整 …… 37
5-2 各種カバーの取付け …… 38
5-3 見切り材の取付け …… 39
5-4 操作部注意シールの貼付け …… 40

施工の前に

⚠ 注 意

●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。

施工上のお願い

●正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
●施工場所に寸法的に正しく納まるか事前に必ず確認をしてください。
●梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
●使用するシーリング剤は、以下のアルコール系シーリング剤を現場で手配してください。
・信越化学工業(株)「シーラント72」
・モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)「トスシール380」
・ダウ・東レ(株)「SE960」

施工上のご注意

⚠ 注 意

●納まり図を確認し、本体高さが指定寸法以下になるようにしてください。
●ボルト、ネジ、ナットは当社指定品を指定本数使用し、下記締付トルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。強度低下などの原因になります。
〈推奨トルク〉
※φ4ネジ、ナット:2.5N・m±0.5N・m（25±5kgf・cm）
※φ5ネジ:3.0N・m±0.5N・m（30±5kgf・cm）

●アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
●製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。

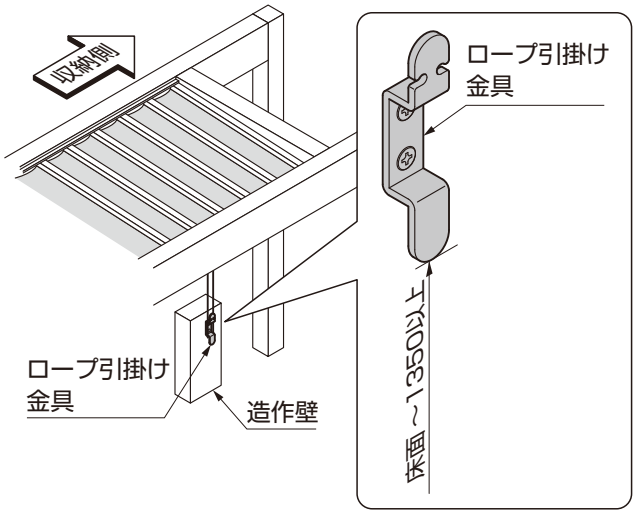
施工上のお願い

●施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
●施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
●取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。

施工上のご注意 つづき

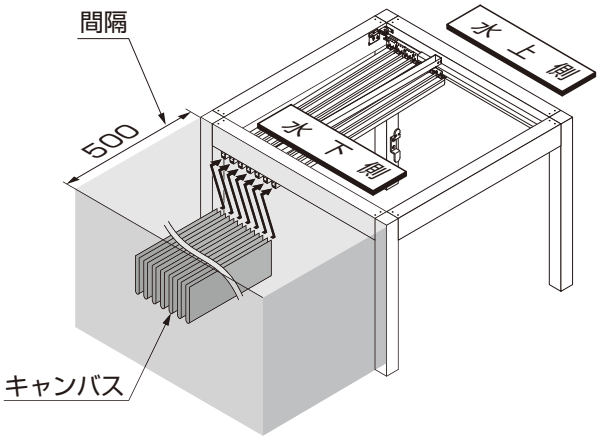
施工上のお願い

●オーニングの紐は必ず引っ掛け金具に固定してください。
●オーニングを開いた状態や閉じた状態で固定する為の紐を引っ掛ける必要がありますが、本体収納側の紐を落とす部分に柱が無い場合は必ず引っ掛け金具を取り付けられるように現地で調整（造作の壁を用意する等）をしてください。



補足

●キャンバス挿入による幅確保の為、水下側フレーム外面から500mm以上の間隔が必要です。水下側にスクリーン、Gウォールを取り付ける場合は、オーニングの施工完了後に取付を行ってください。先に取付を行うとキャンバスの挿入が出来なくなる恐れがあります。



基礎工事について

⚠ 注 意

●基礎石は指定寸法以上のものを使用し、確実に設置してください。強度低下の原因になります。
●寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
●養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

施工上のお願い

●コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
●モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
●製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。

施工の後に

施工上のお願い

●取扱説明書は施主様にお渡しください。

チェックリスト

※下記項目は重要事項ですので必ず点検してください。

●ネジ締め

No.	ページ	チェック内容	
1	22	レール材は【XX】ネジを使用して推奨トルクで取付け、ゆるみがないことを確認しましたか。	□
2	22	吊金具とボトム材は【XX】ネジを使用して推奨トルクで取付け、ゆるみがないことを確認しましたか。	□
3	24	縦横ローラーは【XX】ネジを使用して推奨トルクで取付け、ゆるみがないことを確認しましたか。	□
4	24	キャンバスは【XX】ネジを使用して推奨トルクで取付け、ゆるみがないことを確認しましたか。	□
5	25	見切り材は【XX】ネジを使用して推奨トルクで取付け、ゆるみがないことを確認しましたか。	□

●配線

No.	ページ	チェック内容	
1	36	ロープの配線箇所が引っかかったり、詰まったりしないよう確認しましたか。	□

●垂直平行

No.	ページ	チェック内容	
1	26	フロントバーが平行になっていますか？	□
2	34	吊金具は垂直に取付けられていますか？	□

梱包明細表

【1】レールセット

名　称	略　図	員　数	
		L30	L40
レール 右用		1	1
レール 左用		1	1
レール材カバー		2	2
レール材カバー 調整用		2	2

【2】フロントバー・見切り材セット

名　称	略　図	員　数	
		W20	W30
フロントバー		1	1
フロントバーカバー		1	1
フロントバーカバー 調整用		1	1
見切り材		2	2

【3】ボトム材基本セット

名　称	略　図	員　数	
		W20	W30
ボトム材		4	4
隙間塞ぎ材		3	3

【4】ボトム材追加セット

名　称	略　図	員　数	
		W20	W30
ボトム材		2	2
隙間塞ぎ材		2	2

【5】キャンバスセット(アクリルキャンバス)

名　称	略　図	員　数	
		L30	L40
アクリルキャンバス W20		5	7
φ6チューブ W20		10	14

【6】キャンバスセット(アクリルキャンバス)

名　称	略　図	員　数	
		L30	L40
アクリルキャンバス W30		5	7
φ6チューブ W30		10	14

【7】キャンバスセット(熱線遮断アクアキャンバス)

名　称	略　図	員　数	
		L30	L40
アクリルキャンバス W20		5	7
φ6チューブ W20		10	14

【8】キャンバスセット(熱線遮断アクアキャンバス)

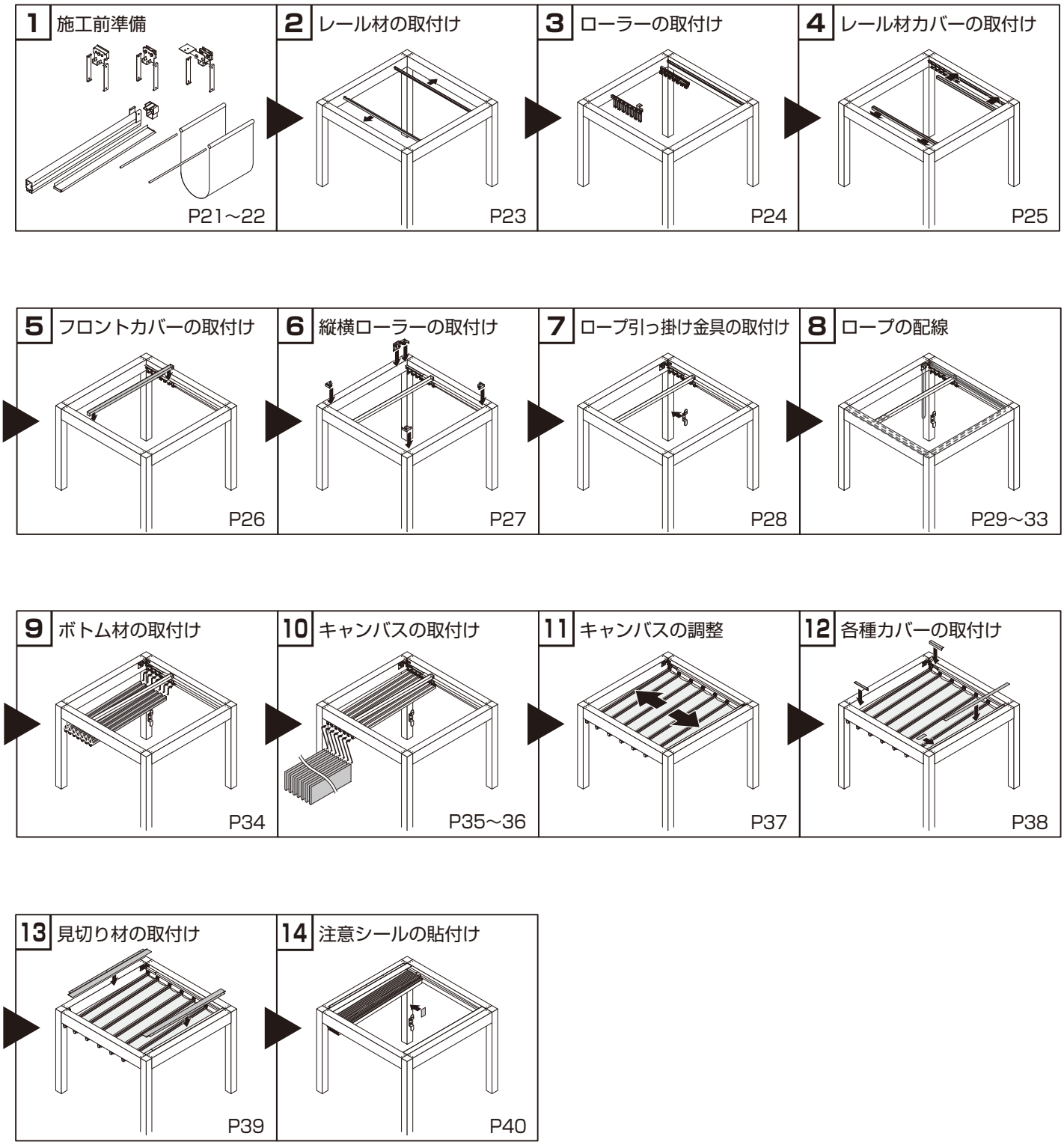
名　称	略　図	員　数	
		L30	L40
アクリルキャンバス W30		5	7
φ6チューブ W30		10	14

梱包明細表

【9】部品箱セット					
名　称	略　図	員　数			
		W20/L30	W20/L40	W30/L30	W30L40
先頭ローラー金具		LR各1	LR各1	LR各1	LR各1
中間ローラー金具		8	12	8	12
ストッパー金具		2	2	2	2
横ローラー金具		4	4	4	4
縦ローラー金具		1	1	1	1
吊り金具(短)		12	16	12	16
吊り金具(長)		12	16	12	16
ロープ		25m巻	29m巻	25m巻	29m巻
ロープ固定プレートA		2	2	2	2
ロープ固定プレートB		2	2	2	2
ロープ引掛け金具		1	1	1	1
ボトム材キャップ		12	16	12	16
操作部注意シール		1	1	1	1
【9a】φ5×16ナベドリルネジ(予備4本)		40	52	40	52
【9b】φ4×12トラスタッピン3種(D=8)		32	32	36	36
【9c】φ4×19サラドリルネジ		10	14	10	14
【9d】φ4×19サラドリルネジ(色付き)※		2	2	2	2
【9e】φ5×12トラス小ネジ(D=10)		48	64	48	64
【9f】φ5×35ナベドリルネジ		4	4	4	4
【9g】φ4×12トラスタッピン3種(緩み止め付き)		18	22	18	22
【9h】φ4×16ナベドリルネジ		25	35	35	49
【9i】M5用平座金		4	4	4	4
【9j】M5用バネ座金		4	4	4	4
取付説明書	−	1	1	1	1
取扱説明書	−	1	1	1	1

※ブラック、ホワイトのみ

施工の流れ

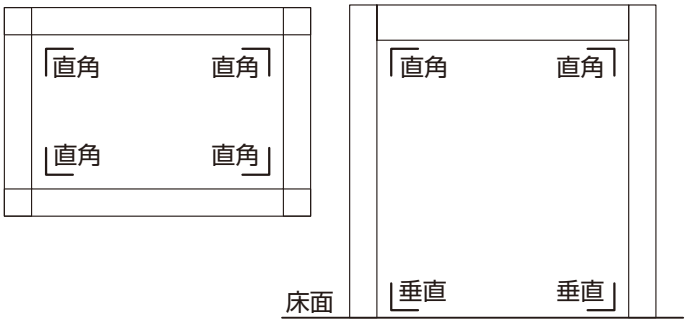

1 施工前準備
P21~22
2 レール材の取付け
P23
3 ローラーの取付け
P24
4 レール材カバーの取付け
P25
5 フロントカバーの取付け
P26
6 縦横ローラーの取付け
P27
7 ロープ引っ掛け金具の取付け
P28
8 ロープの配線
P29~33
9 ボトム材の取付け
P34
10 キャンバスの取付け
P35~36
11 キャンバスの調整
P37
12 各種カバーの取付け
P38
13 見切り材の取付け
P39
14 注意シールの貼付け
P40

1 施工の前の重要確認事項

1-1 柱の垂直、フレームの直角

施工上のお願い

●柱及びフレームの垂直、フレームの直角は必ず確認してください。

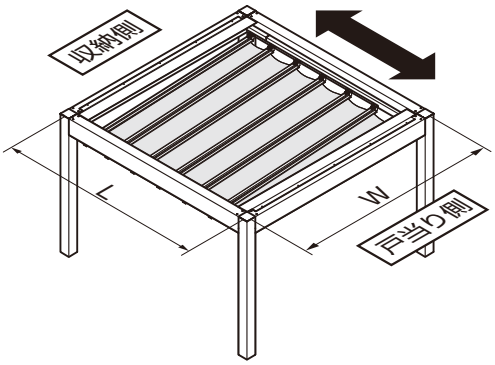


1-2 呼称寸法「W」、「L」

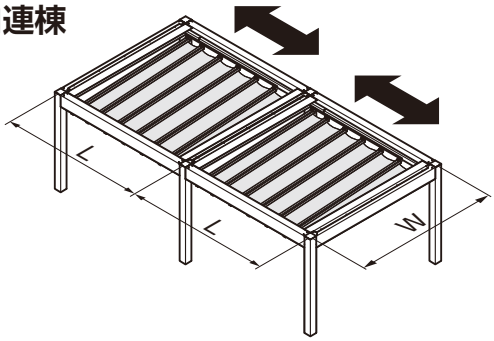
施工上のお願い

●L方向連棟はキャンバス開閉方向に連棟させます。W方向連棟はキャンバス幅方向に連棟させます。

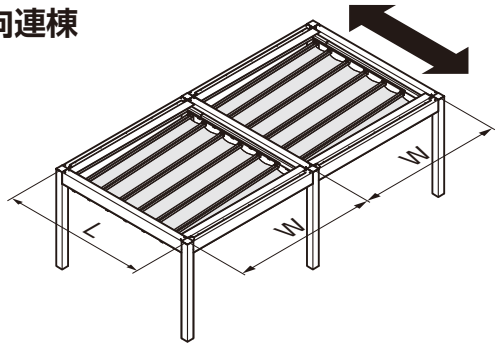
W：キャンバス幅方向
L ：キャンバス開閉方向



●L方向連棟



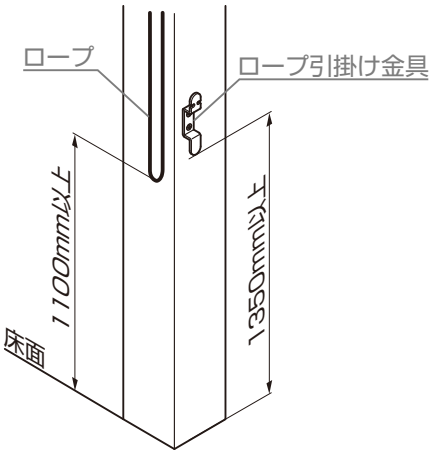
●W方向連棟



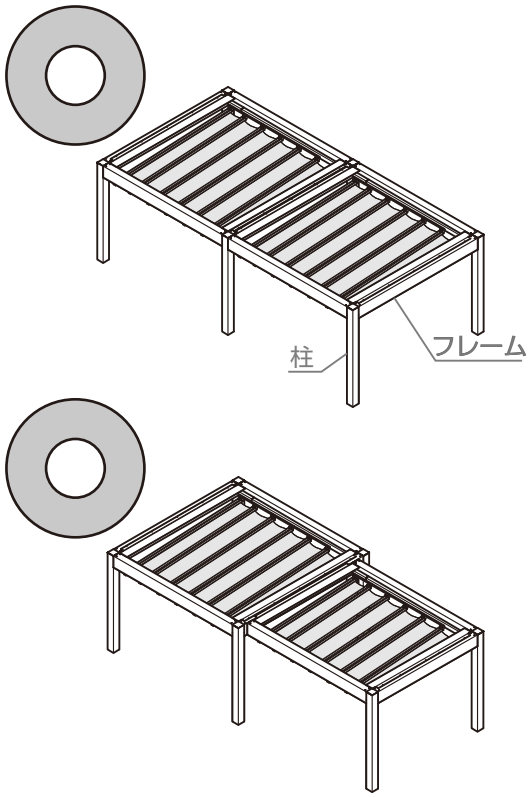
1-3 ロープの取付け位置について

施工上のお願い

●ロープは床面から1100mm以上(※JIS A 4811引用規格に準ずる)の位置になるように取付けてください。

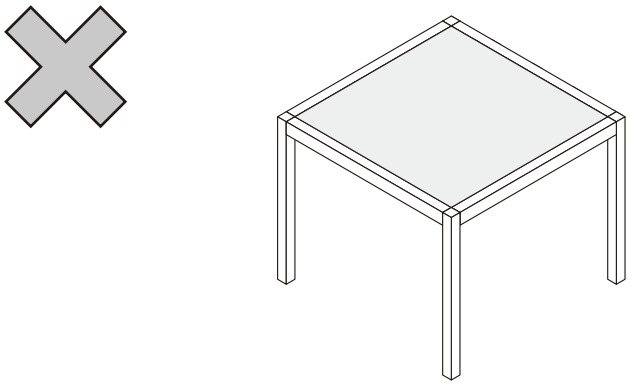


1-4 フレームの接続方法について

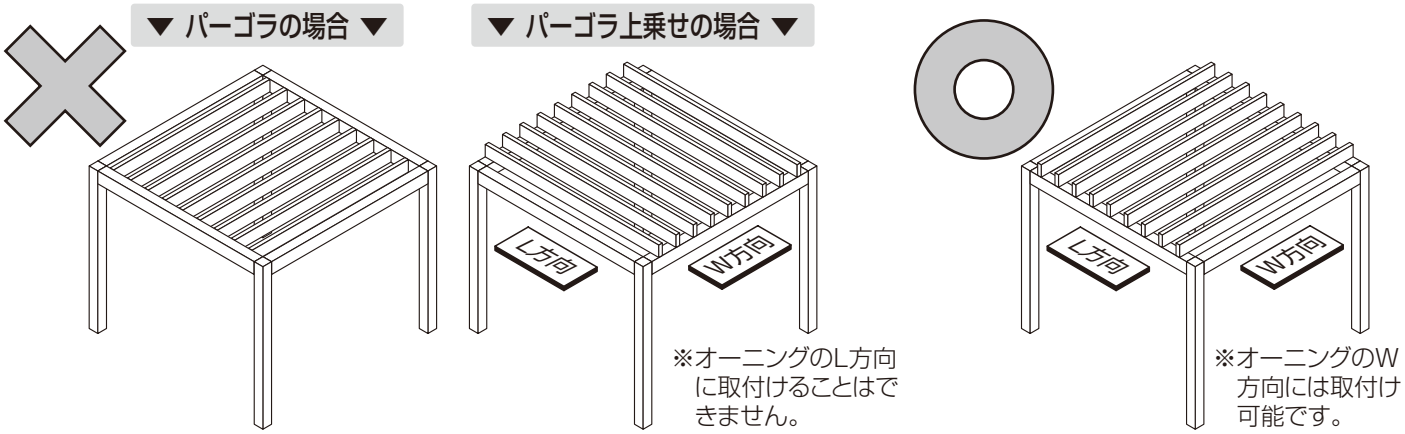


1-5 取付け不可条件

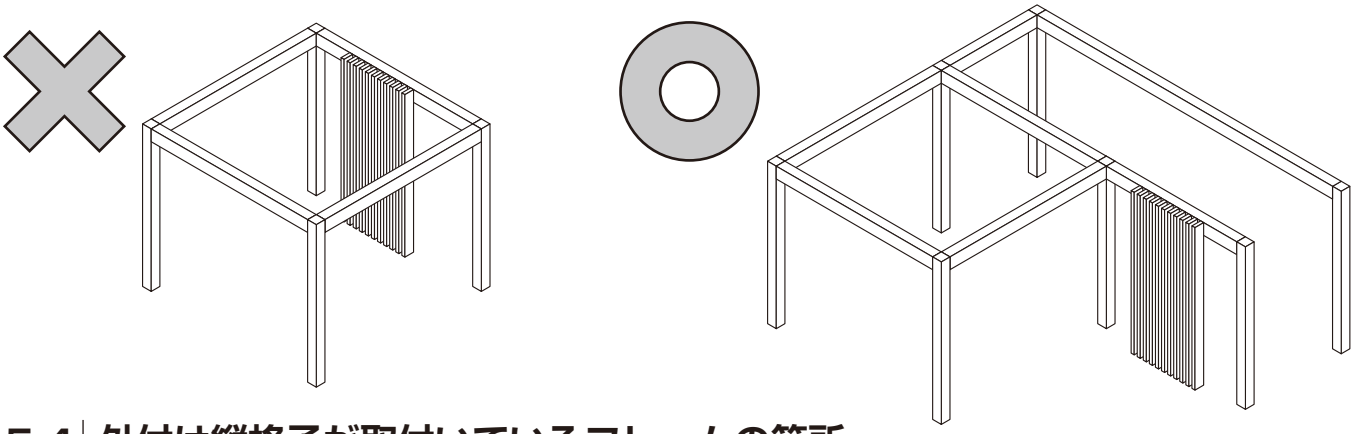
1-5-1 Gルーフ フリータイプが取付いているフレームの箇所



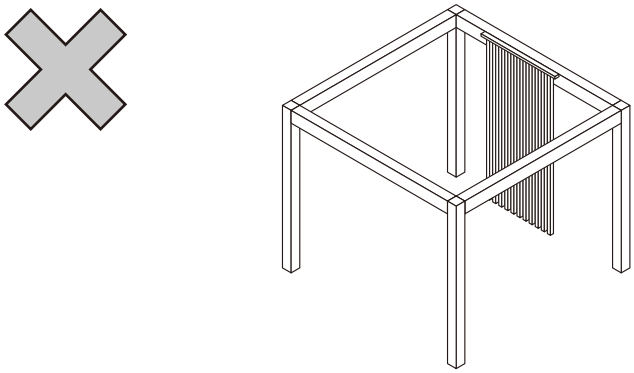
1-5-2 パーゴラが取付いているフレームの箇所



1-5-3 デザイン格子（外付けタイプ）が取付いているフレームの箇所



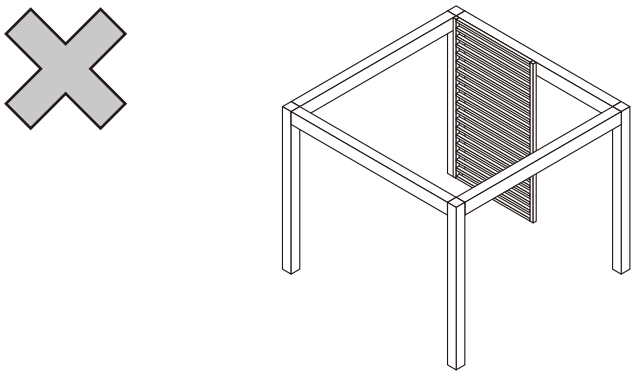
1-5-4 外付け縦格子が取付いているフレームの箇所



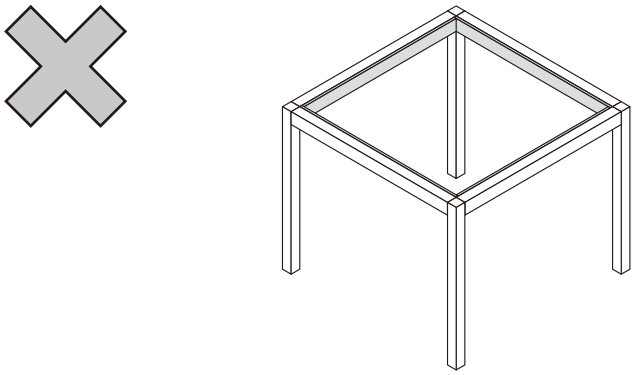
1-5 取付け不可条件

つづき

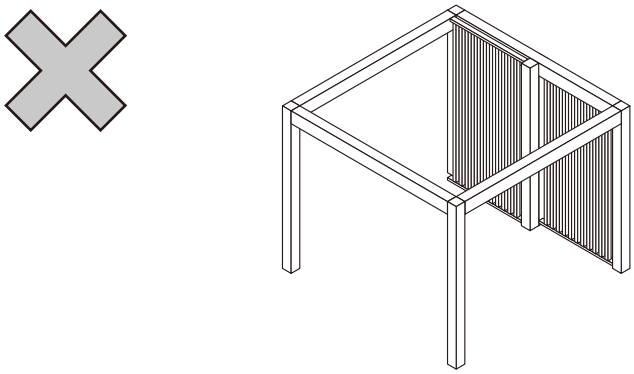
1-5-5 外付け横桟格子が取付いているフレームの箇所



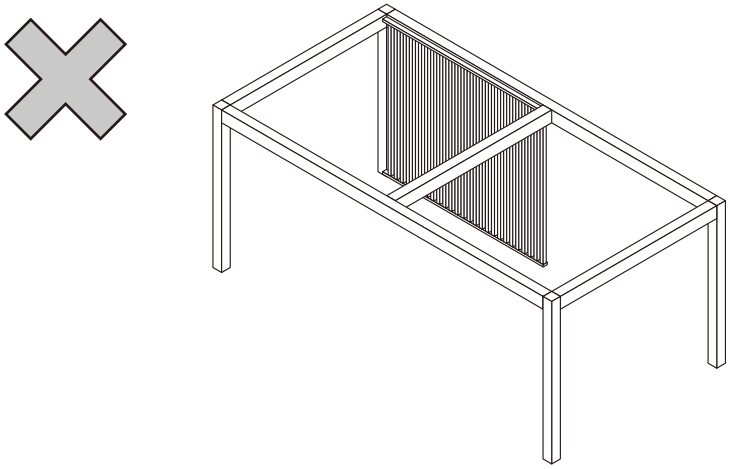
1-5-6 フレーム意匠部材が取付いているフレームの箇所



1-5-7 吊引戸のレールが取付いているフレームの箇所



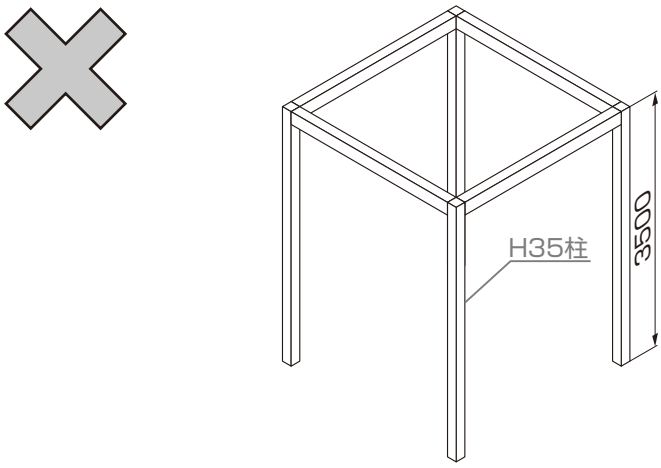
1-5-8 リニア吊引戸が取付いているフレーム



1-5 取付け不可条件

つづき

1-5-9 H35柱使用時



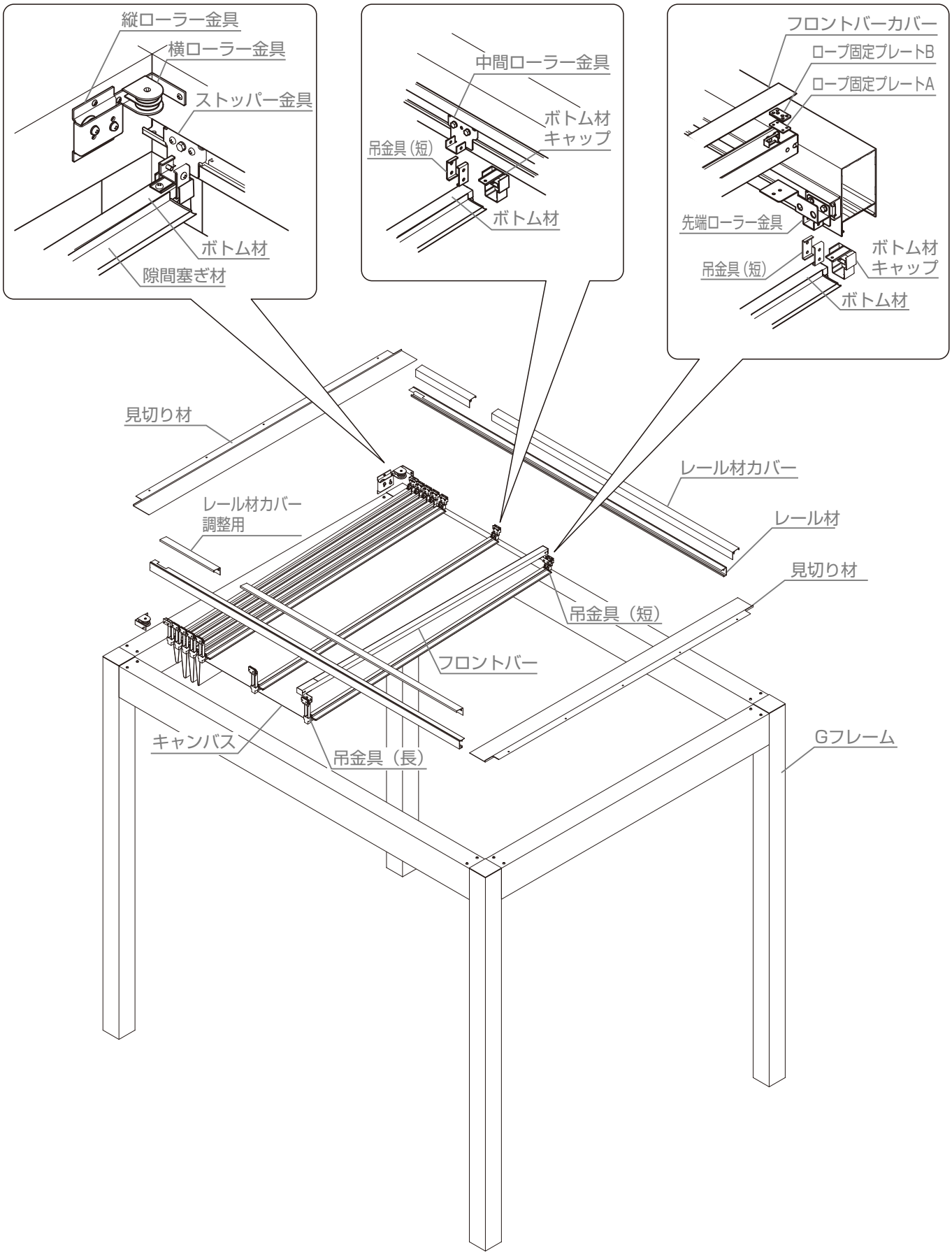
1-6 支持部材として使用可能条件

■使用可能な柱
・柱
・柱（中間用）
・150角柱
・150角柱（中間用）
・丸柱（中間用）

■使用可能なフレーム
・フレーム
・150角フレーム
・ワイドフレーム（長手側は可、短辺側は不可）
・躯体付けフレーム

2 各部の名称と基本寸法

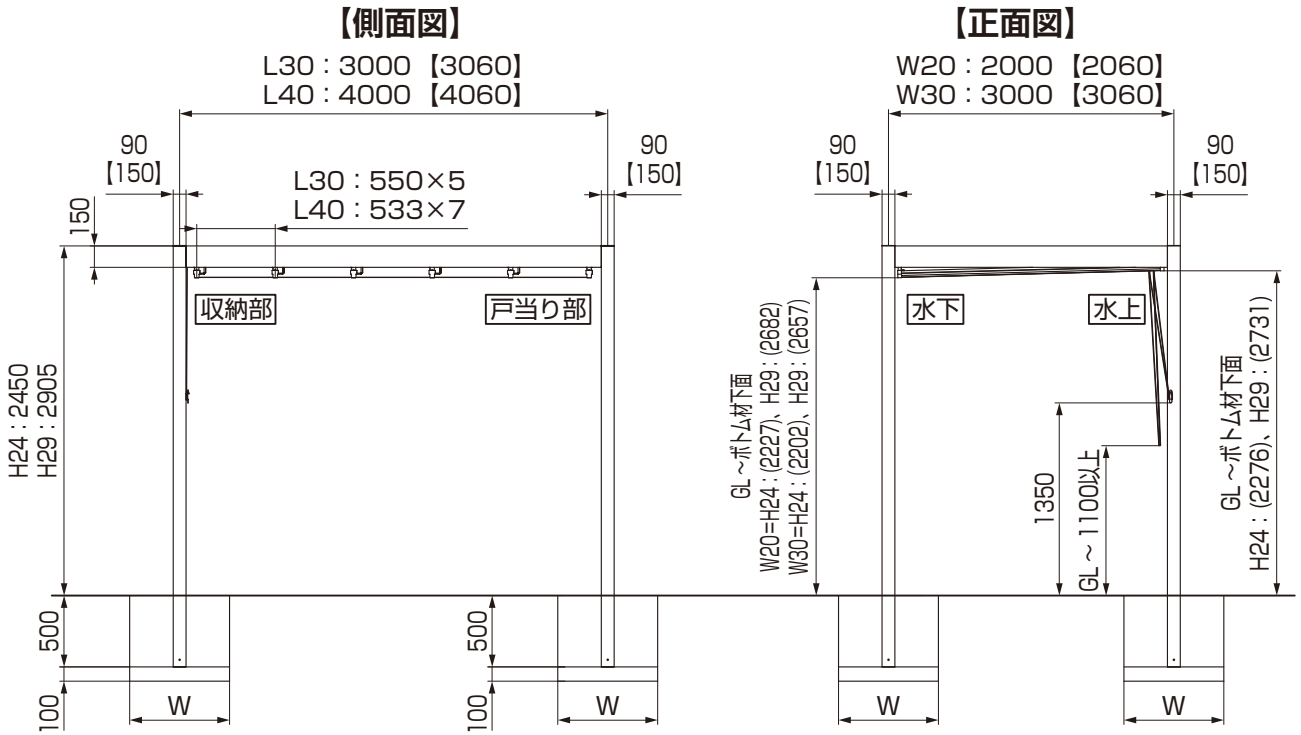
2-1 各部の名称



2-2 基本寸法

2-2-1 基本納まり ※【】寸法は、150角柱仕様の場合を示す。

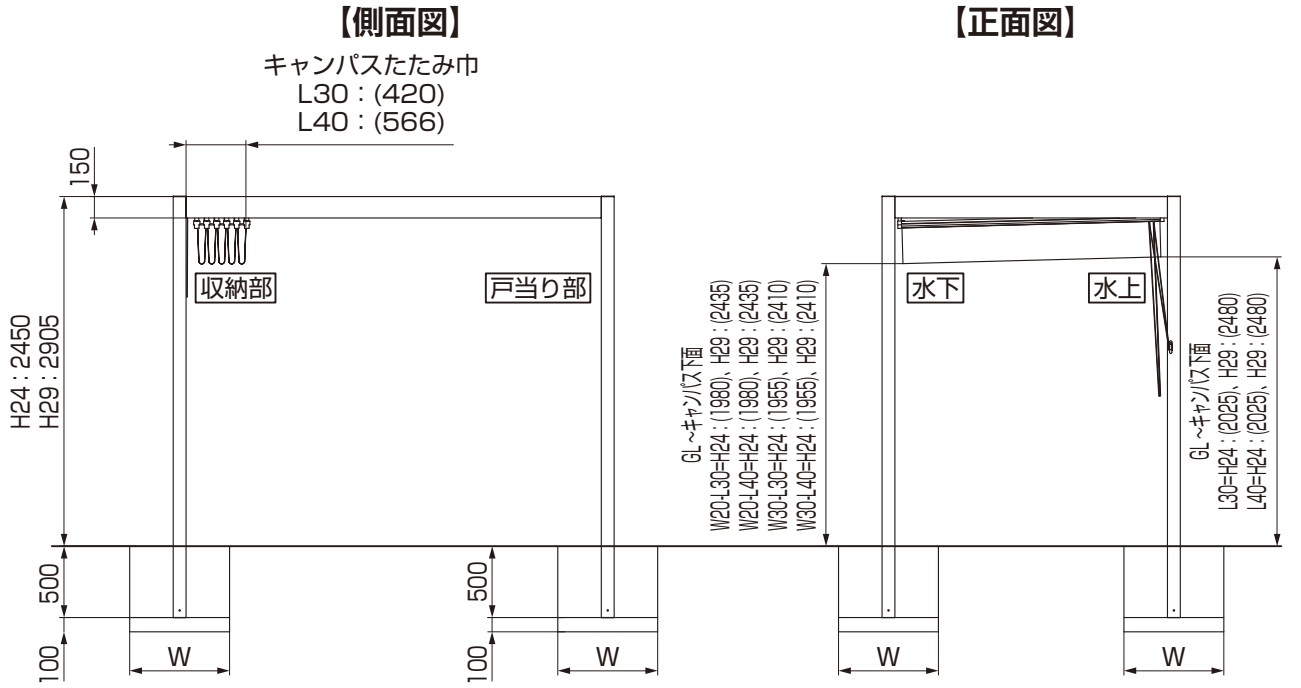
（1）使用時



基礎寸法表

L30	L40
□700	□750

（2）収納時



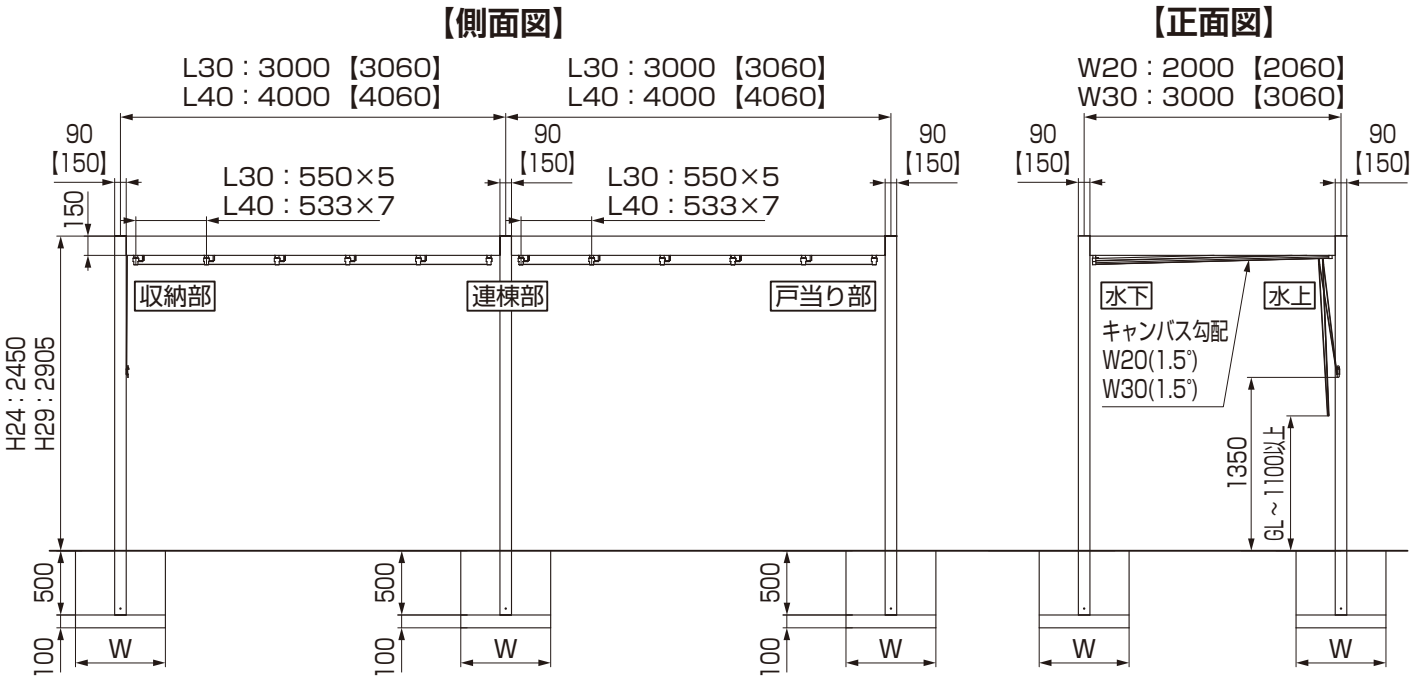
施工上のお願い

●スクリーン取付けの場合はオーニングとスクリーンの基礎サイズを比較し、下記に従って寸法を決定してください。
・オーニングの基礎の方が大きい場合はオーニングの基礎に+100mm加算
・スクリーンの基礎の方が大きい場合はスクリーンの基礎に+100mm加算

2-2 基本寸法

2-2-2 L連棟納まり

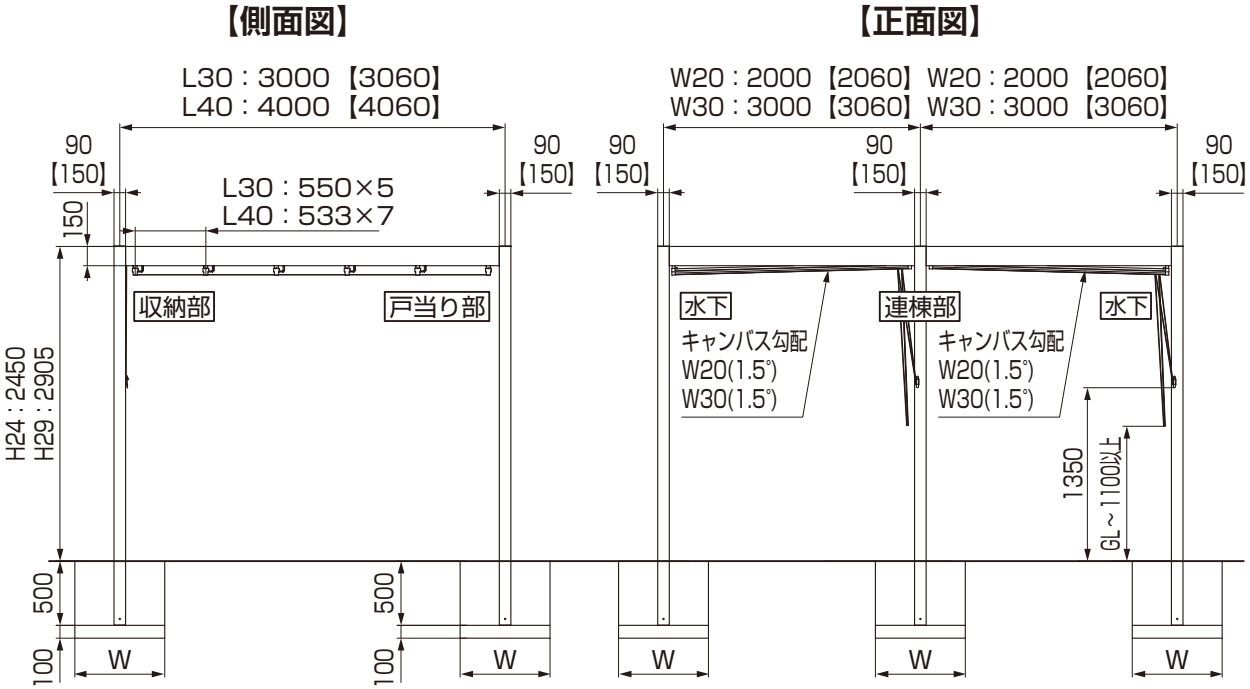
※【】寸法は、150角柱仕様の場合を示す。



基礎寸法表

L30	L40
□700	□750

2-2-3 W連棟納まり



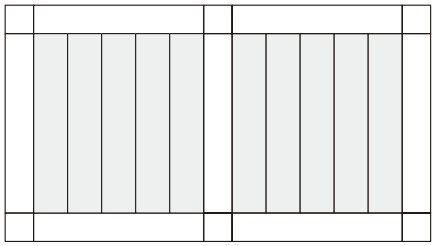
基礎寸法表

L30	L40
□700	□750

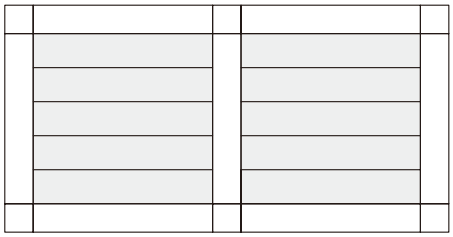
2-3 特殊連棟パターン

■連棟について

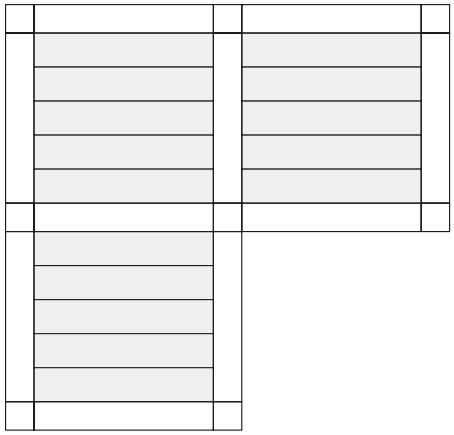
●キャンバス開閉方向の連棟



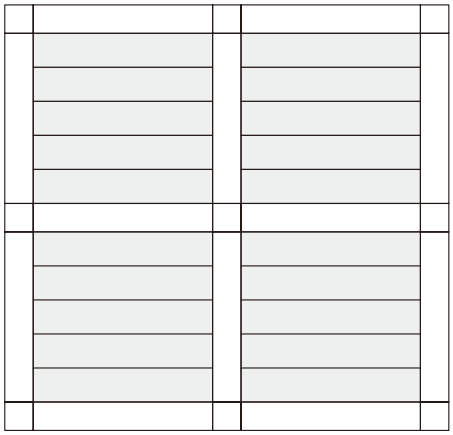
●キャンバス幅方向の連棟



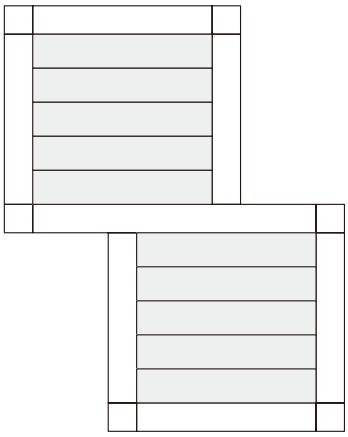
●L字連棟



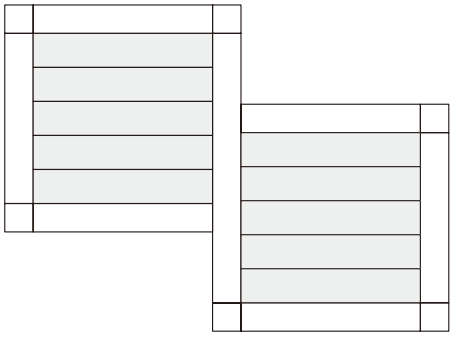
●田の字連棟



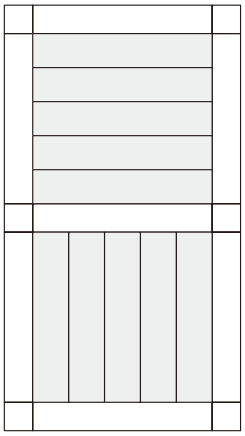
●キャンバス開閉方向の段違い連棟



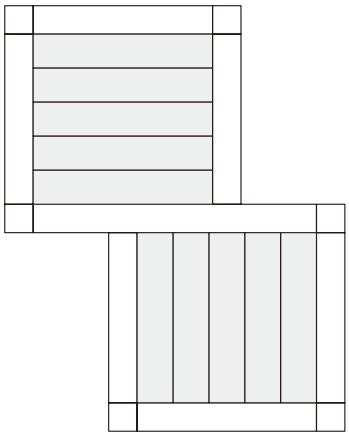
●キャンバス幅方向の段違い連棟



●向き違いの連棟



●向き違いの段違い連棟

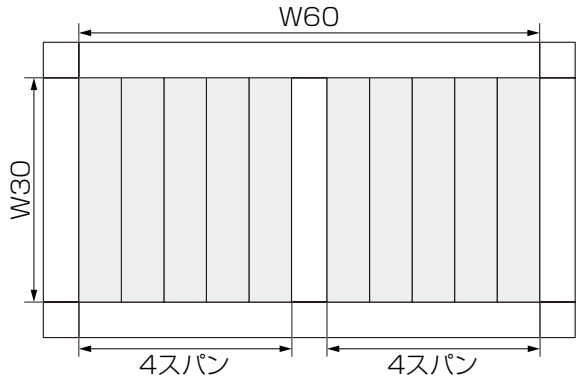


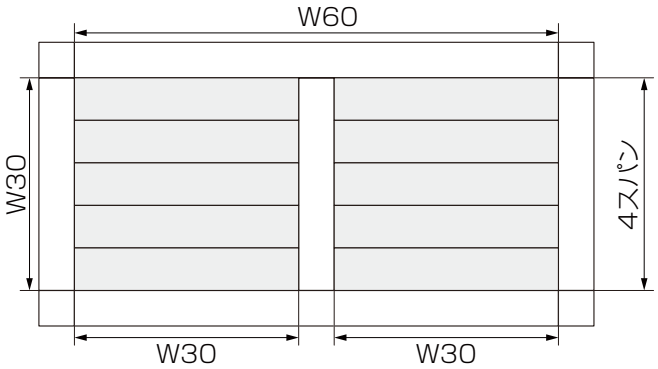
2-3 特殊連棟パターン

つづき

■柱４本での連棟について（特殊納まり）

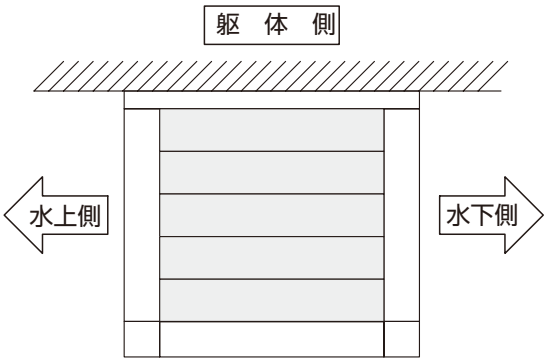
●フレーム、150角フレームでは以下の納まりが可能です。

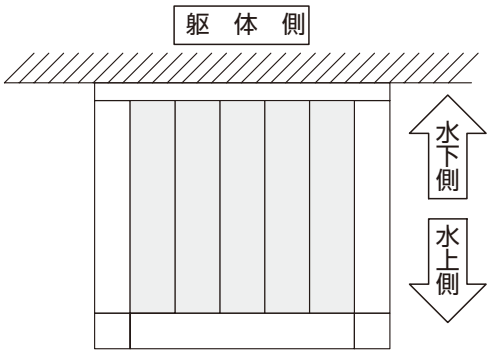


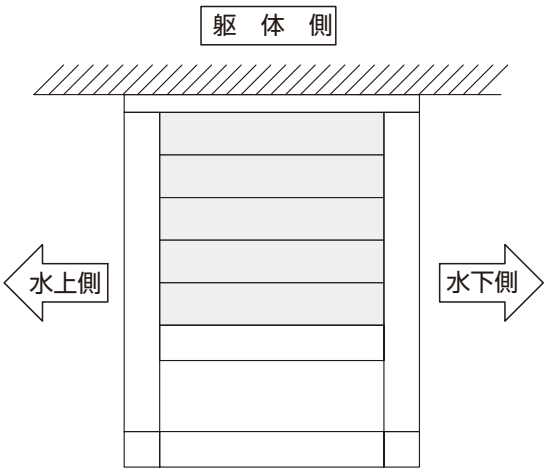


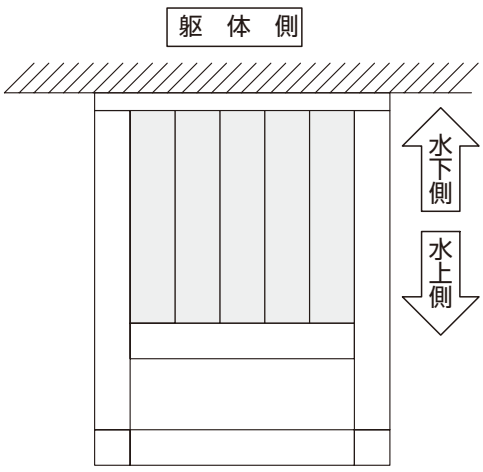
■躯体付けについて

●躯体付けフレームを使用して、躯体付け納まりが可能です。
※220フレームを使用した納まりはできません。
※躯体側が水上側となるように設置して下さい。







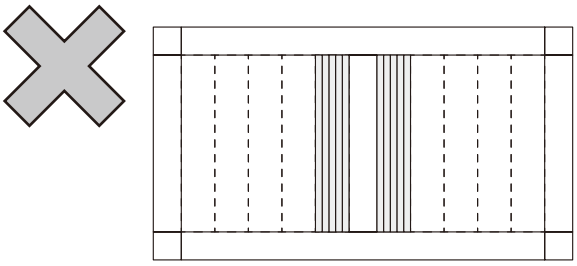


2-3 特殊連棟パターン

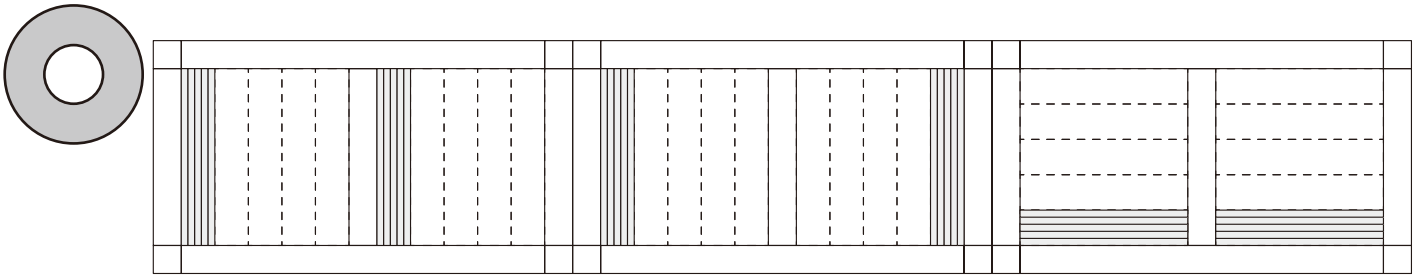
つづき

■キャンバスの収納位置について

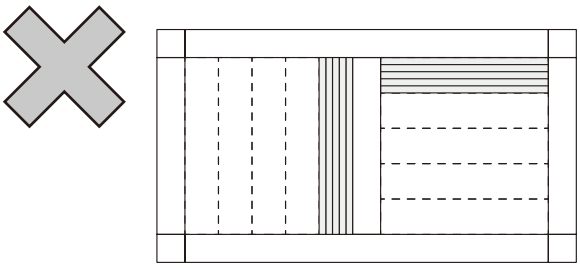
●連棟部のフレームの両側面をキャンバス幅方向の収納部にすることはできません。



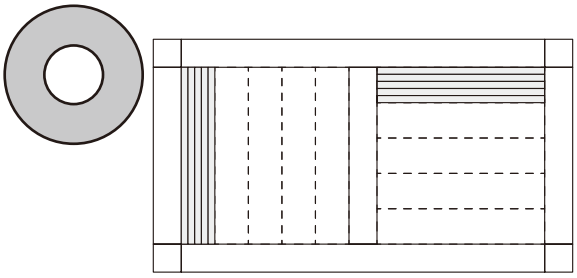
●連棟部のフレームにはキャンバス幅方向の収納部が片面までです。
キャンバス開閉方向の収納部は両面も可能です。



●向き違い連棟の場合、キャンバス幅方向の収納部を連棟部のフレームにすることはできません。



●キャンバス幅方向の収納部は連棟部のフレームではないフレームにしてください。

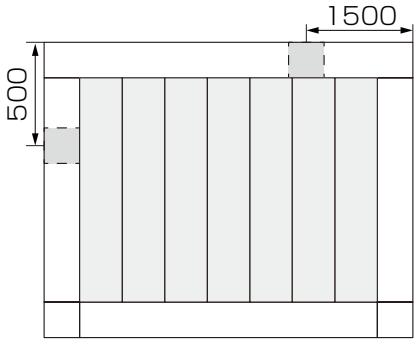


2-3 特殊連棟パターン

つづき

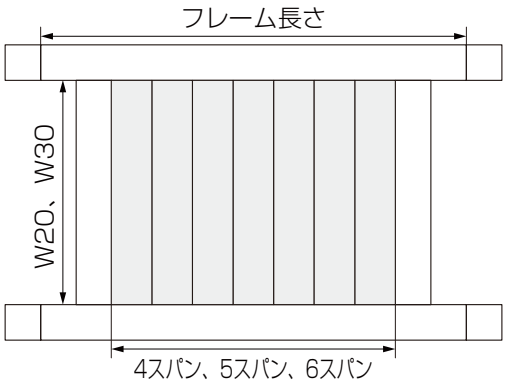
■柱移動について

●キャンバス開閉方向には最大1500㎜、キャンバス幅方向には最大500㎜移動可能です。
※収納側の柱を移動させる場合、ロープが固定できなくならないように現場で調整してください。
（造作の壁を建てる等）



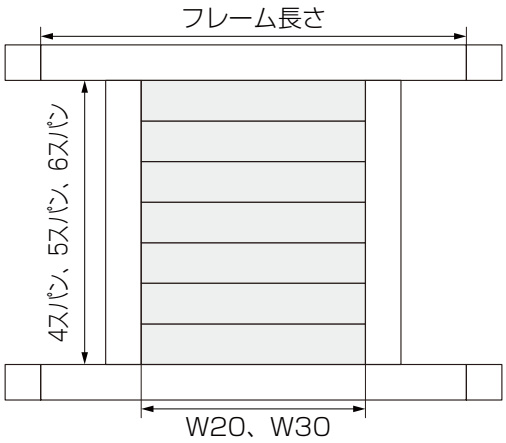
■フレーム延長納まりについて

●キャンバス開閉方向にフレームを延長する場合



フレーム長さ	オーニングW20		オーニングW30	
	L30	L40	L30	L40
W40	○	○	○	○
W50	○	○	○	○
W60	○	○	○	○

●キャンバス幅方向にフレームを延長する場合



フレーム長さ	オーニングW20		オーニングW30	
	L30	L40	L30	L40
W40	○	○	○	○
W50	○	○	○	○
W60	○	○	○	▲

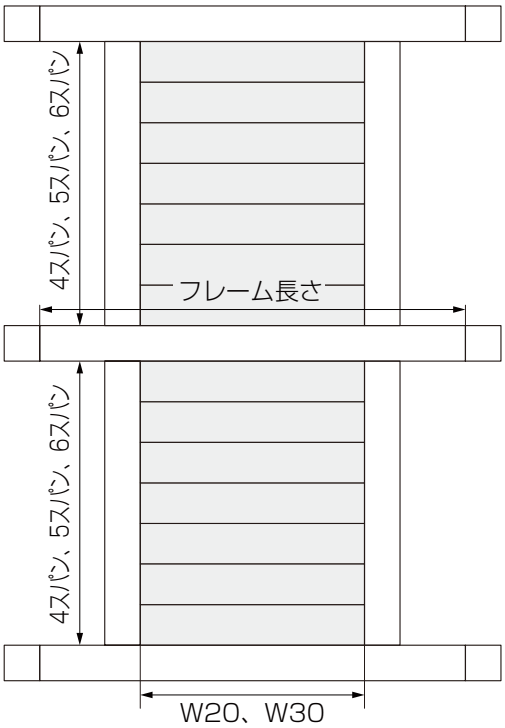
※▲は150角フレームを使用すれば取り付け可能

2-3 特殊連棟パターン

つづき

■連棟部のフレーム延長納まりについて

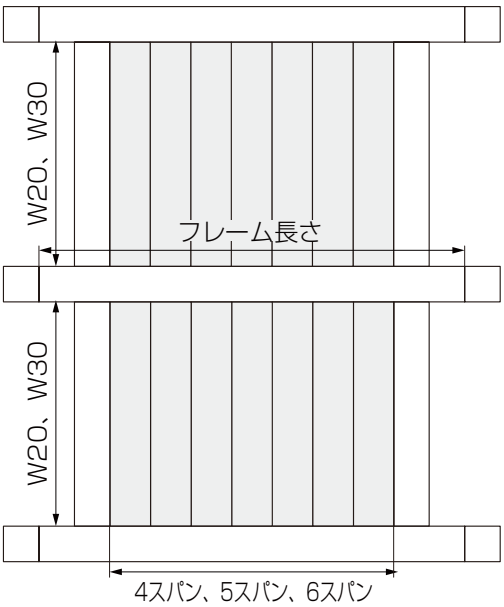
●キャンバス開閉方向に連棟する場合の連棟部のフレーム



フレーム長さ	オーニングW20		オーニングW30	
	L30	L40	L30	L40
W30	○	○	○	○
W40	○	○	○	○
W50	○	○	○	○
W60	○	▲	○	×

※▲は150角フレームを使用すれば取り付け可能

●キャンバス幅方向に連棟する場合の連棟部のフレーム



フレーム長さ	オーニングW20		オーニングW30	
	L30	L40	L30	L40
W30	○	—	○	—
W40	○	○	▲	▲
W50	○	▲	▲	×
W60	▲	▲	×	×

※▲は150角フレームを使用すれば取り付け可能

3 施工前準備

3-1 ローラー金具の準備

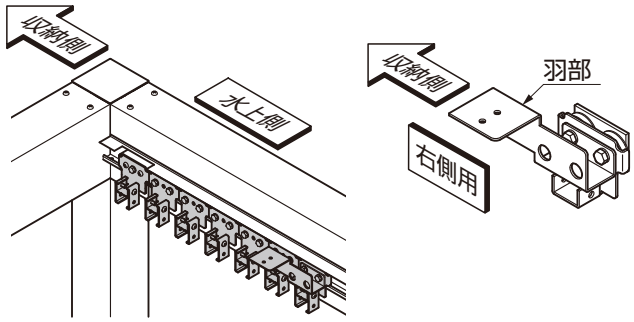
吊金具（短）、吊金具（長）取付ける前に

■水上、水下の確認

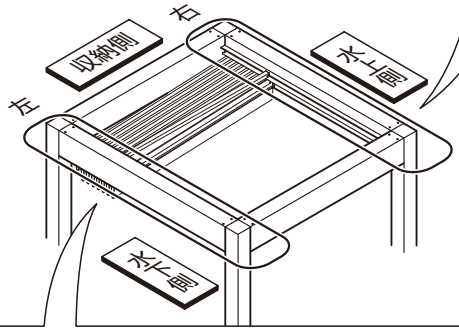
施工上のお願い

●先頭ローラー金具は右用と左用があります。羽部が収納側を向きます。

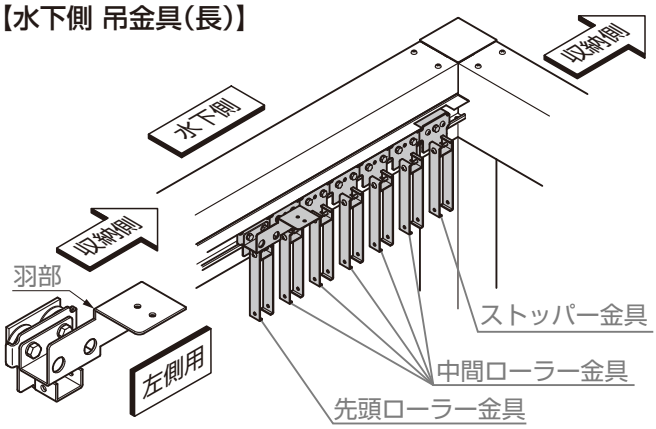
【水上側 吊金具(短)】



[施工完了後のイメージ]

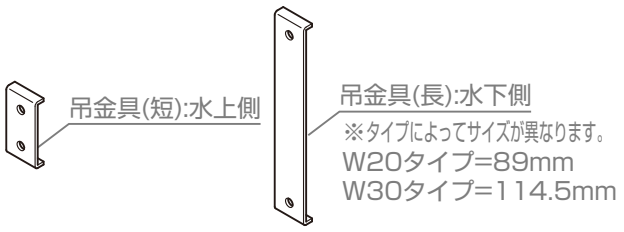


【水下側 吊金具(長)】



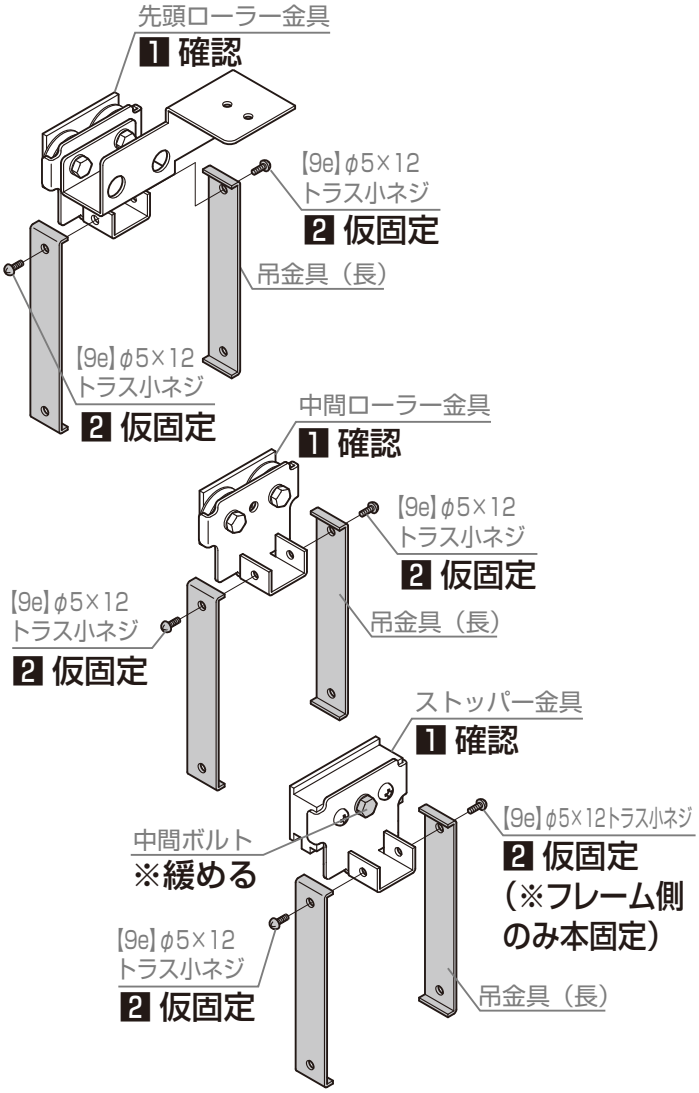
施工上のお願い

●吊金具(短):水上側、吊金具(長):水下側の関係になるため、取付け前に確認してください。



3-1-1 吊金具(長)の組立て(仮固定)

1:ローラー金具の取付位置と向きを確認
2:吊金具(長) をローラー金具、ストッパー金具に【9e】で仮固定
（ストッパー金具のフレーム側は本固定）

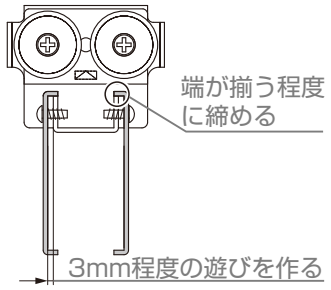


ローラー金具の数	L3000	L4000
先頭ローラー金具 L	1	1
先頭ローラー金具 R	1	1
中間ローラー金具	8	12
ストッパー金具	2	2

※吊金具(長)のみの仮組みとなります。

施工上のお願い

●仮固定の際は、ローラー金具と吊金具の間に3mm程度の遊びができるように締め付けてください。

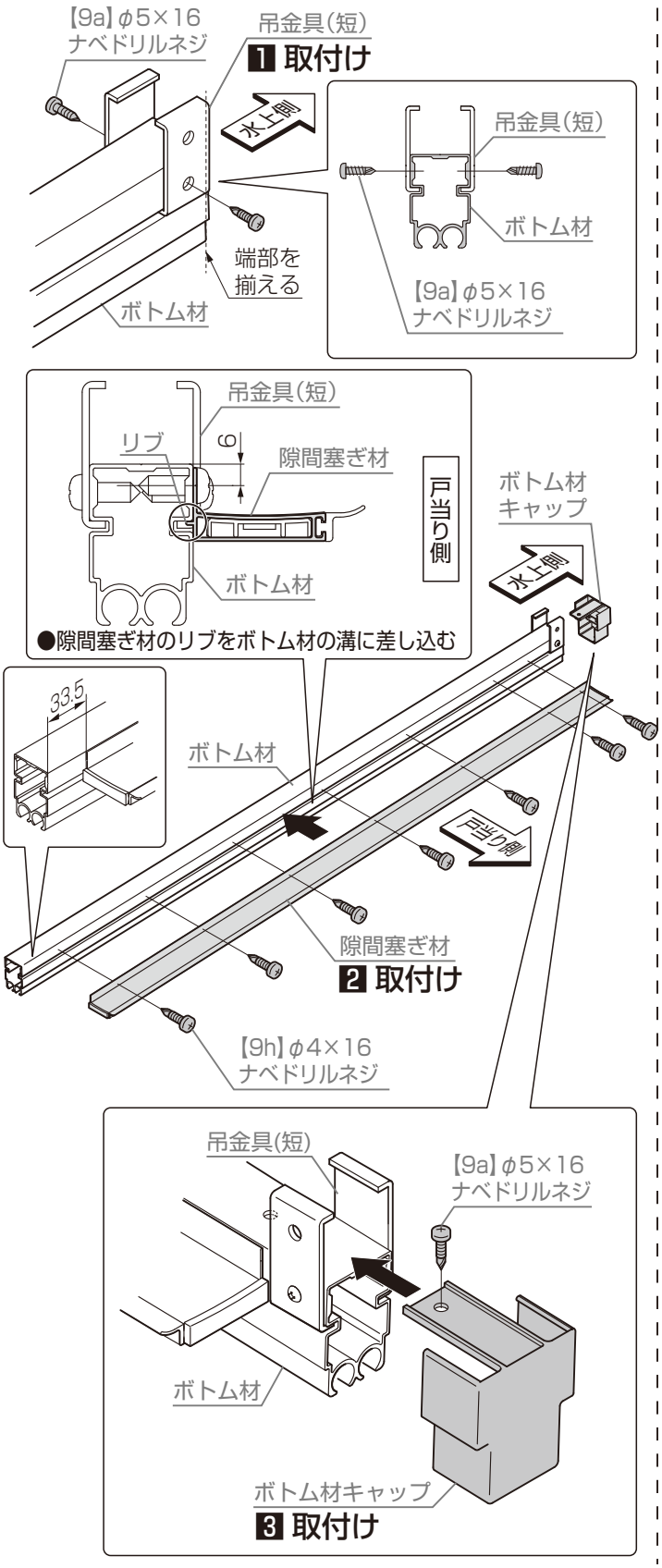


3-2 ボトム材の準備

施工上のお願い

- ●ボトム材の水上側のみ先に組立ててください。
- ●先頭のボトム材には、隙間塞ぎ材は取付けません。
- ●ボトム材の戸当り側に隙間塞ぎ材を取付けてください。

1:吊金具(短)をボトム材の水上側に【9a】で取付け
2:隙間塞ぎ材をボトム材の戸当り側に【9h】で取付け
3:ボトム材の水上側にボトム材キャップを【9a】で取付け

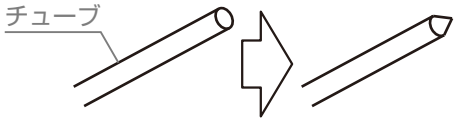


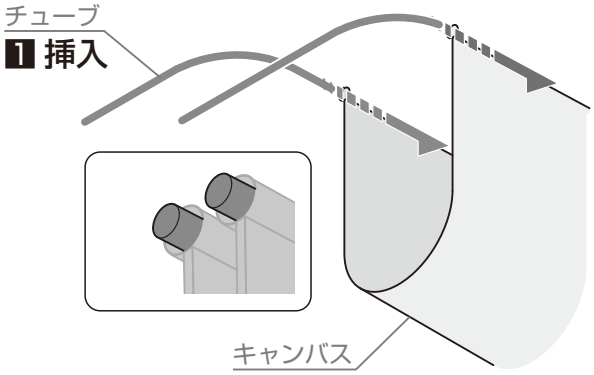
3-3 キャンバスの準備

1:キャンバスの穴にチューブを挿入

施工上のお願い

- ●挿入しにくい場合、カッターでチューブの先端を削ってください。





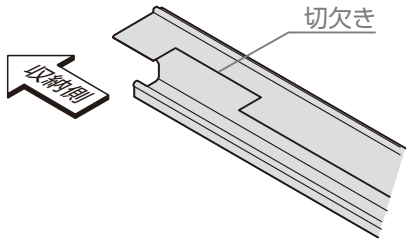
4 オーニング本体の施工

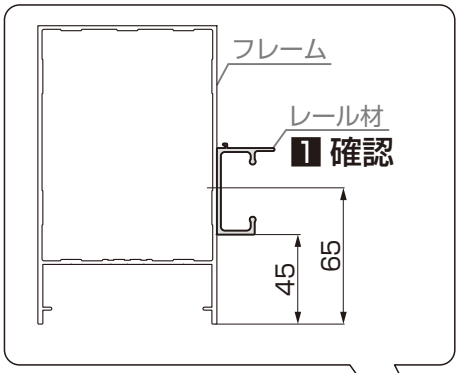
4-1 レール材の取付け

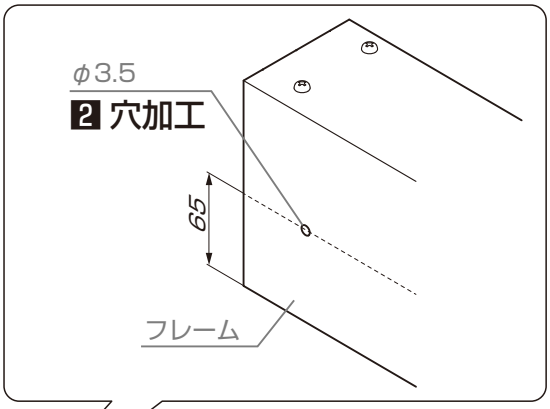
1：レール材の取付け位置を確認
2：フレームに下穴加工
3：フレーム下穴にシーリングを塗布
4：レール材をフレームに【9g】で取付け

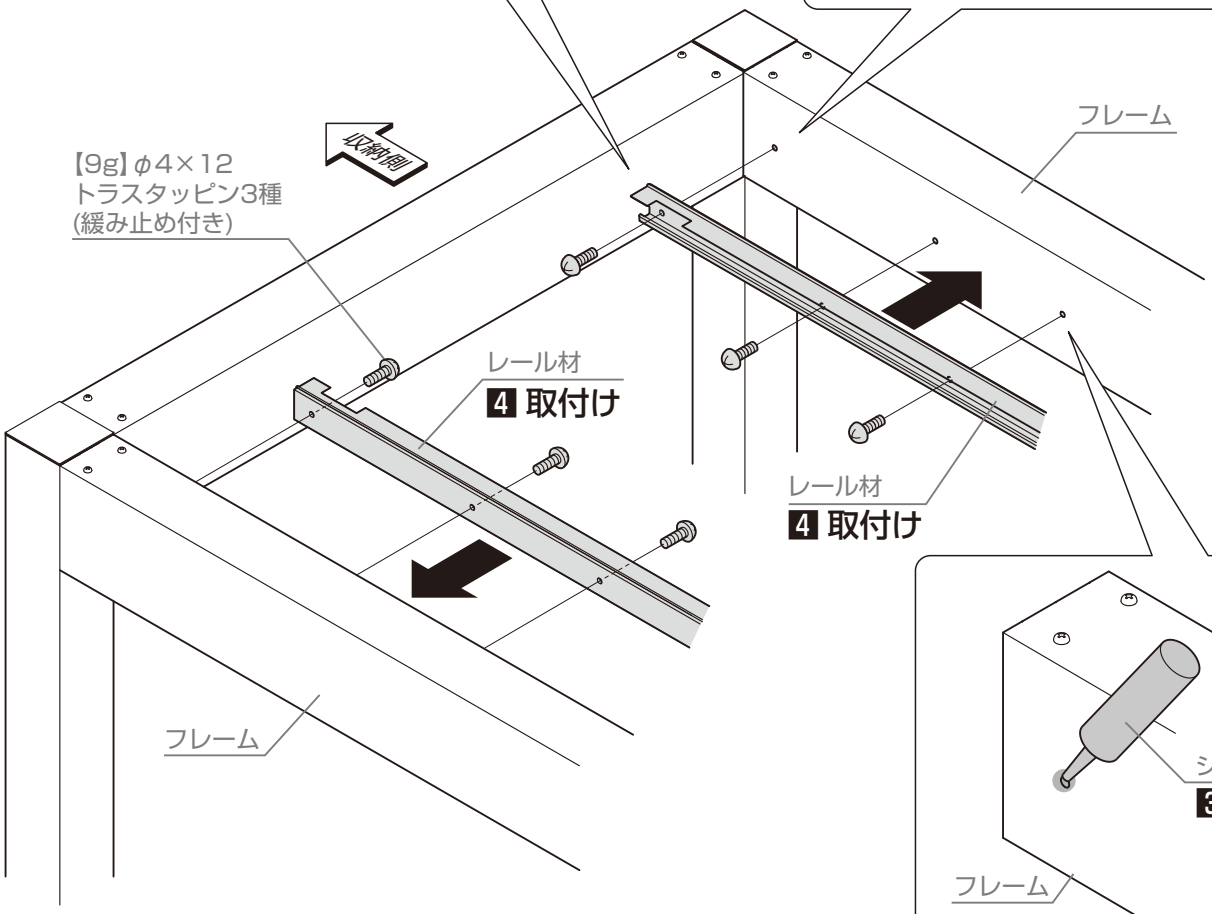
施工上のお願い

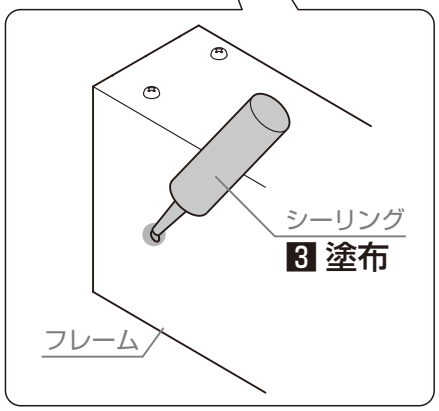
●フレーム下穴にシーリングを塗布してください。
●レール材の切欠き側を、収納側に付けてください。







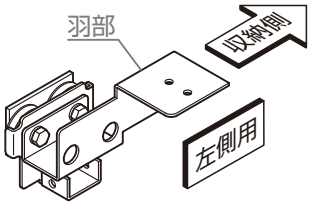




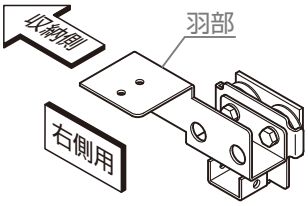
4-2 ローラーの取付け

施工上のお願い

●先頭ローラー金具には左側用と右側用があり、羽部が収納側を向きます。取付けの際に違う側の金具を取付けないように注意してください。



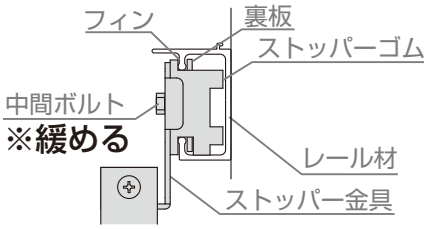
左側用先頭ローラー金具



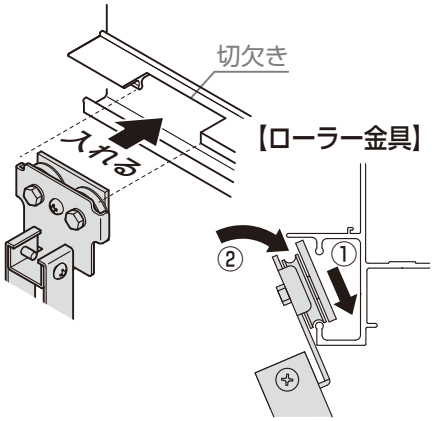
右側用先頭ローラー金具

●ストッパー金具は図のように裏板とストッパーゴムでフィンをはさみます。

【ストッパー金具納まり】

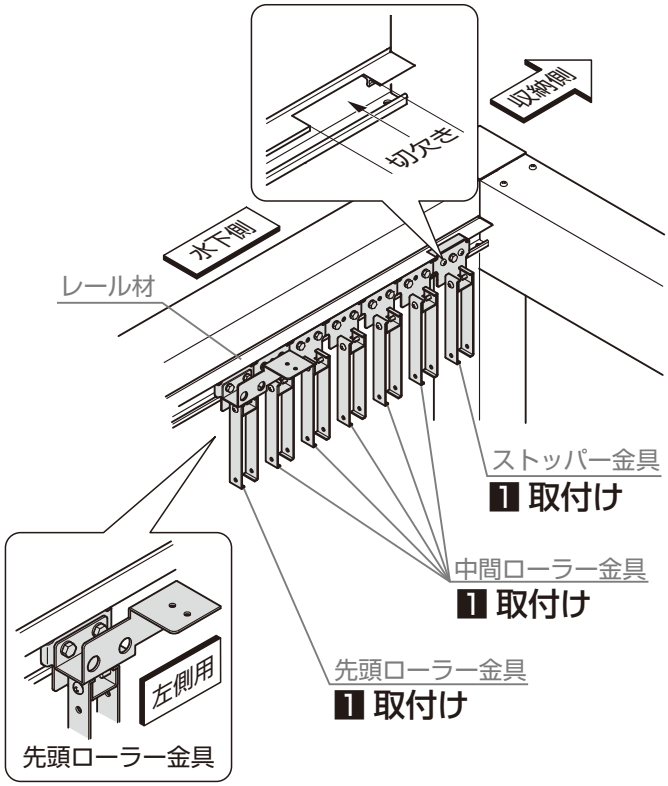


※水上側、水下側両方



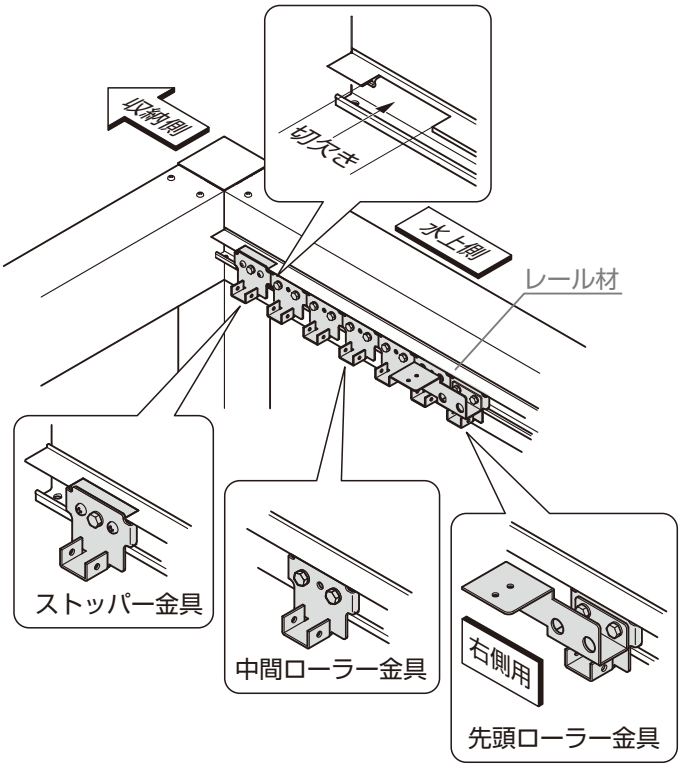
4-2-1 水下側 ※ローラー金具 吊金具(長)付き

1:レールの切欠き部分から先頭ローラー金具、中間ローラー金具、ストッパー金具の順番で取付け



4-2-2 水上側 ※ローラー金具のみ

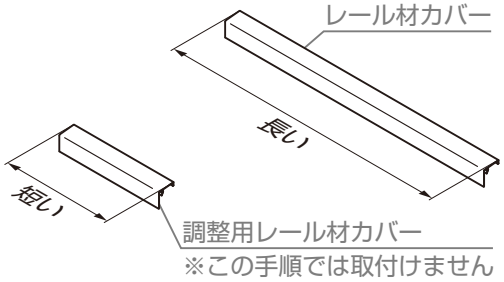
1:レールの切欠き部分から先頭ローラー金具、中間ローラー金具、ストッパー金具の順番で取付け



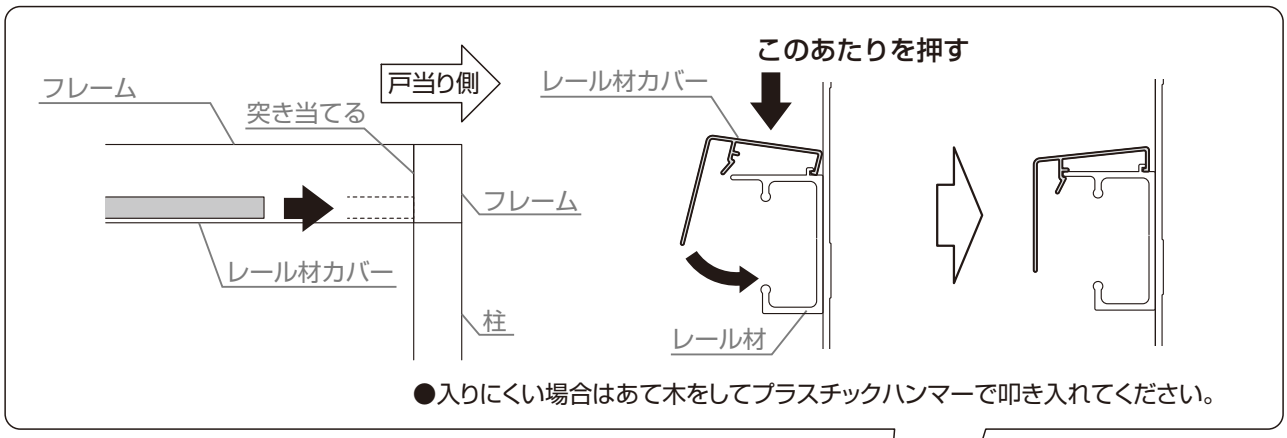
4-3 レール材カバーの取付け

施工上のお願い

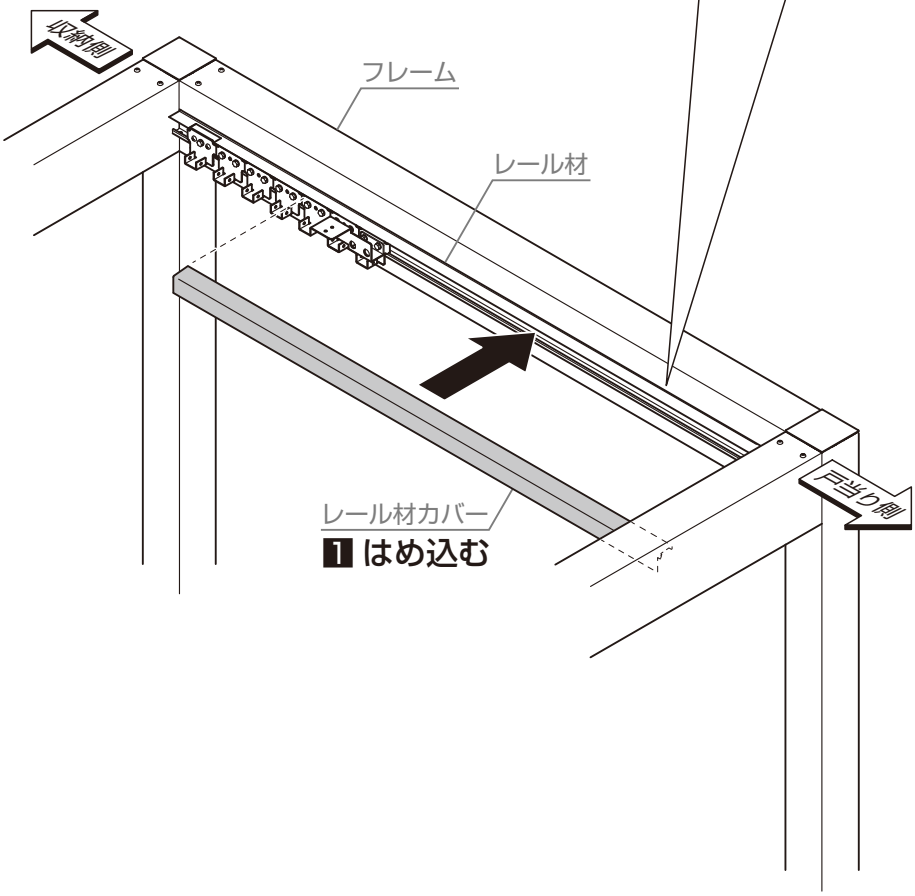
- ●レール材カバーは長いレール材カバーと調整用のレール材カバーの2種があります。この手順では長いレール材カバーのみを取付けるようにしてください。
- ●調整用レール材カバーは「5-2 各種カバーの取付け」で取り付けます。
- ●レール材カバーがきちんとかん合できているか、スライドできることを確認してください。



1：レール材カバーを戸当り側へ突き当てた状態でレールにはめ込む



●入りにくい場合はあて木をしてプラスチックハンマーで叩き入れてください。

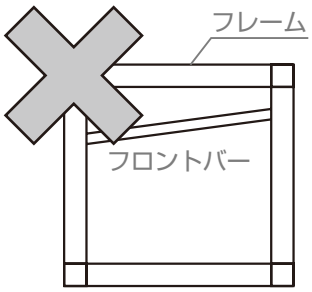


4-4 フロントカバーの取付け

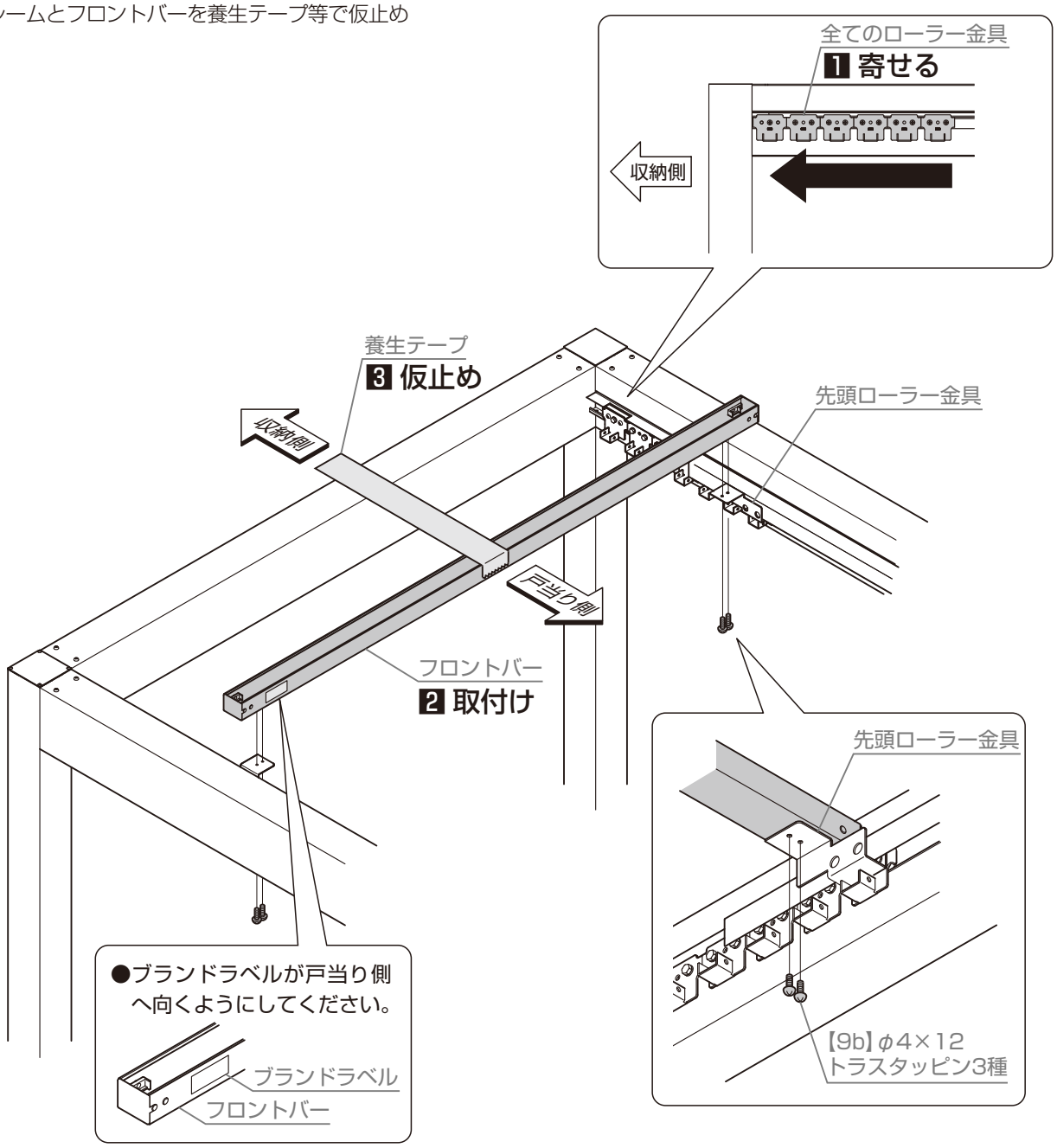
施工上のお願い

●フロントバーを取付け後、フロントバーを収納側に寄せた状態で養生テープ等で仮固定してください。 仮固定をしないまま後工程を進めると、施工完了後にキャンバスがうまく張れない等の不具合となる可能性があります。

●フロントバー取付けの際、フレームとフロントバーが平行になるように取付けてください。右図の様に斜めにならないようにしてください。フロントバーが斜めの状態で取付けると後工程で動きが悪くなります。



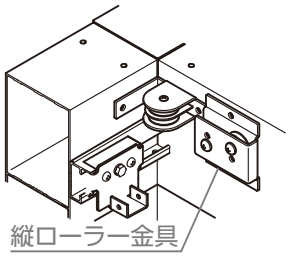
1：全てのローラーを収納側に寄せる
2：フロントバーを先頭ローラー金具に【9b】で取付け
3：フレームとフロントバーを養生テープ等で仮止め



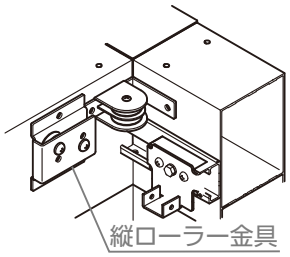
4-5 縦横ローラーの取付け

施工上のお願い

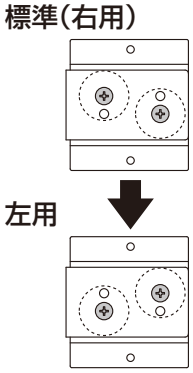
●操作位置は右側が標準です。
左側で操作したい場合は、
・縦ローラー金具のネジを対称に組み換えてください。
・縦ローラー金具を戸当り側から見て左側に取付けてください。



操作位置が左側の場合

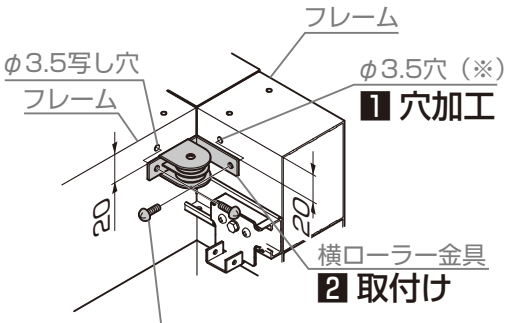


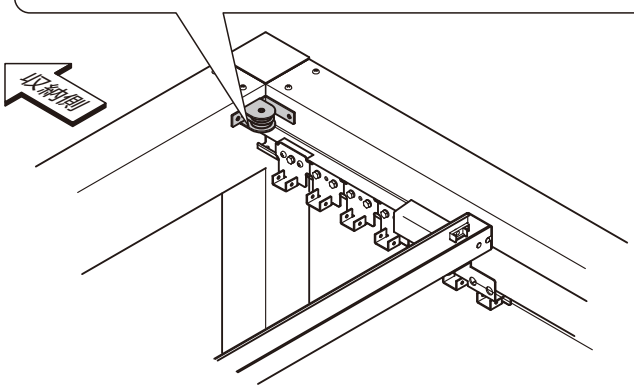
操作位置が右側の場合



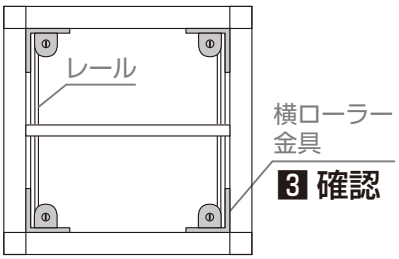
1:横ローラー金具を4隅それぞれにフレーム上面から金具端部で20mmの位置に写し穴でφ3.5穴加工
2:横ローラー金具をフレームに【9b】で取付け

●横ローラー金具取付けの際、向きに注意してください。

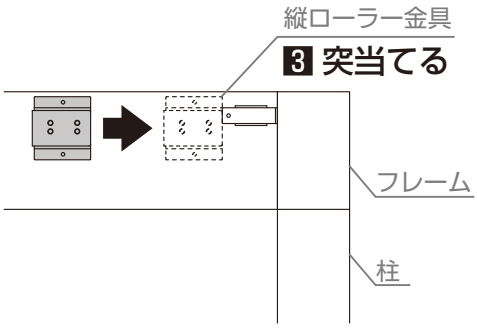


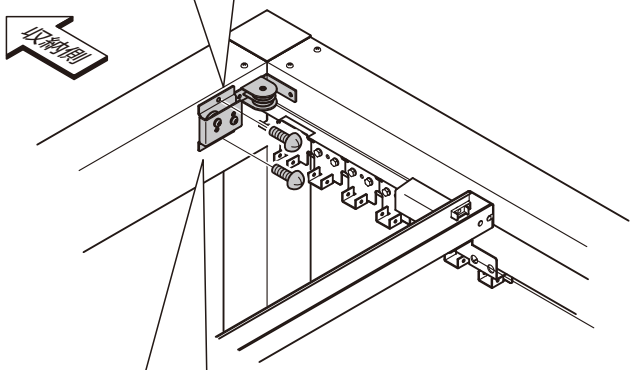


●横ローラー金具は4隅に取付けてください。

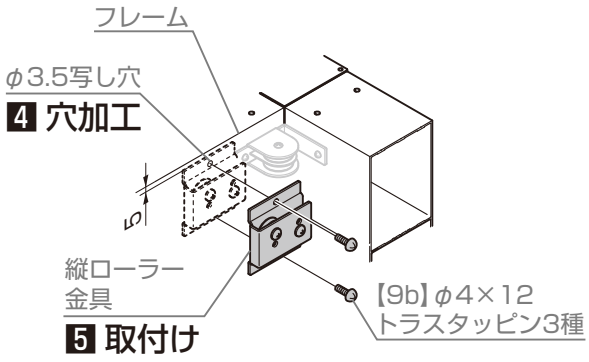


3:操作位置の横ローラー金具に縦ローラー金具を突当てる
4:フレーム上面から金具端部で5mmの位置に写し穴でφ3.5穴加工
5:縦ローラー金具をフレームに【9b】で取付け





●縦ローラー金具は、収納側に取付けてください。

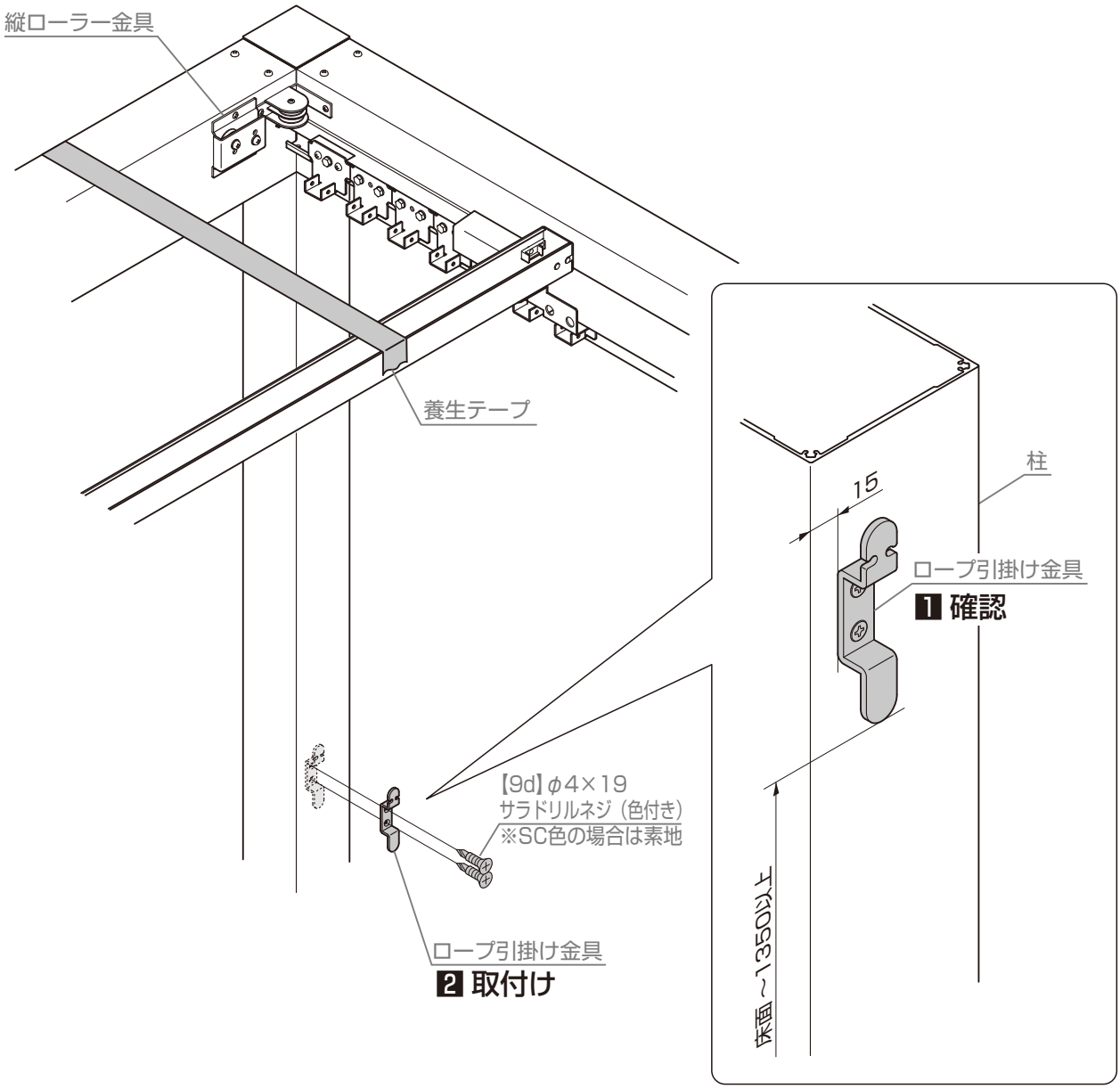


4-6 ロープ引っ掛け金具の取付け

施工上のお願い

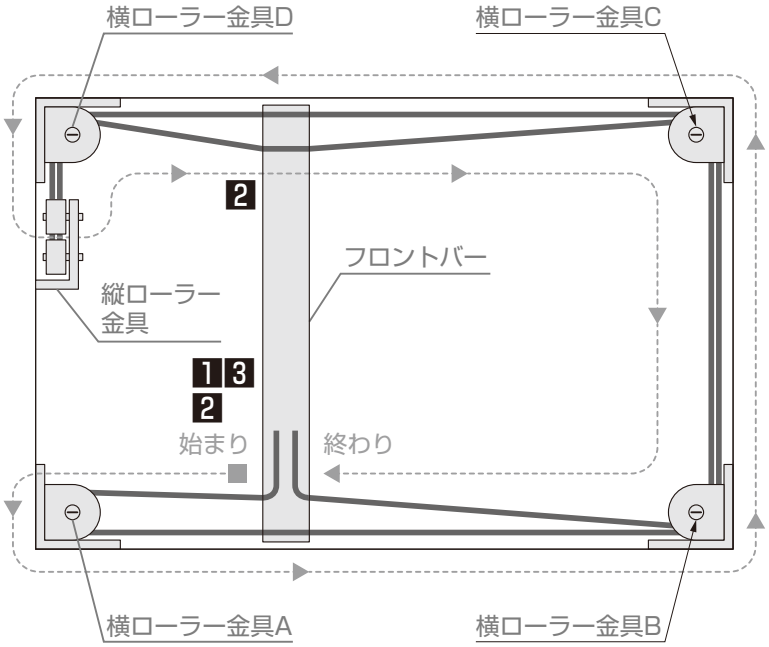
●ロープ引掛け金具は縦ローラー金具を取付けたフレームの近くの柱に取付けます。
●取付け位置は柱端部から金具端部で15mm、高さは任意です。（床面 ～1350mm以上）

1:ロープ引掛け金具を取付ける位置を確認
2:取付ける位置が決まったら、ロープ引掛け金具を柱に【9d】で取付け



4-7 ロープの配線

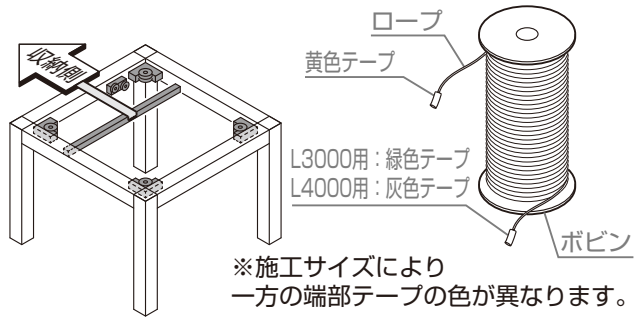
1 ～ 3 ：施工順　━━：ロープ　┈┈▶：ロープの配線の流れ



施工上のお願い

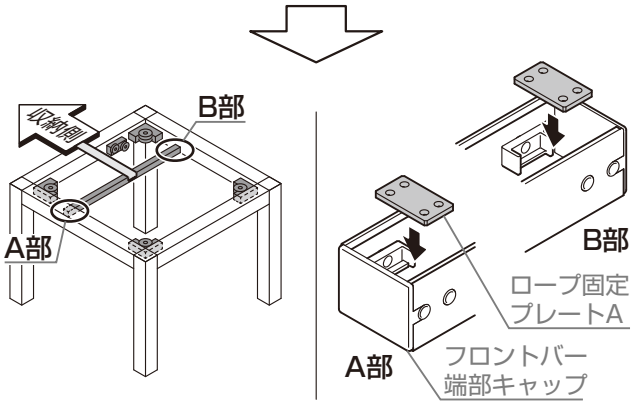
- 詳細は以下に記載されている「ロープ配線方法（詳細）」を参照してください。
- 本図と逆側が操作部（縦ローラー金具が収納側左）の場合は、左右逆に施工してください。

ロープ配線方法（詳細）

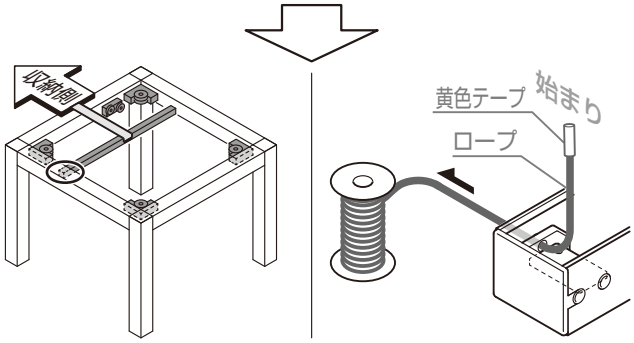


※施工サイズにより
一方の端部テープの色が異なります。

1：部品箱のロープを用意
※色付きテープはとらないでください。

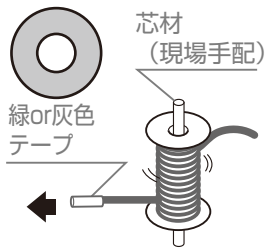


2：ロープ固定プレートAをフロントバー端部キャップに設置



3：ロープの黄色テープ部をフロントバーに通す

- 逆側（黄色テープの逆）の色付きテープを引っ張って取回す際は、ボビンからロープをほどいていくとロープにクセがついてうまく配線できなるため、真っすぐ引っ張って配線してください。



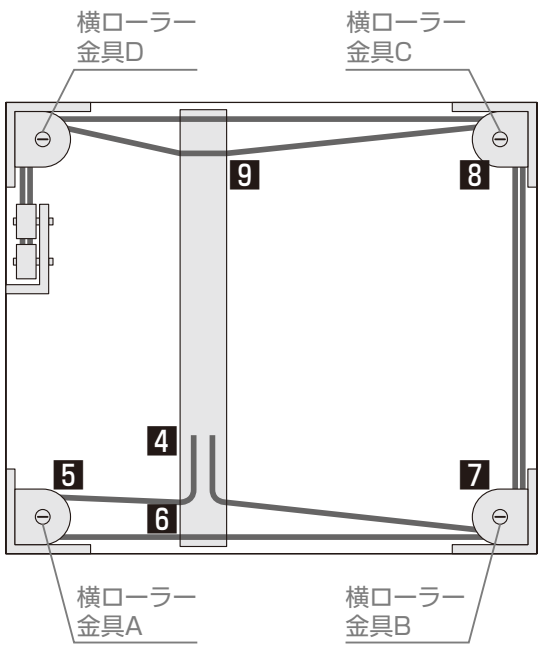
- ロープのクセがひどい場合は、先に黄色いテープ側をフロントバーに通して、仮固定した後、ボビンから先が黄色・灰色のテープ側のロープを全て引っ張り出して、ロープを真っすぐになるように張ってください。

次頁へ

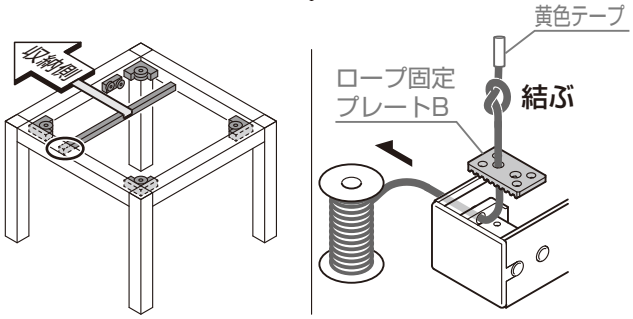
4-7 ロープの配線

つづき

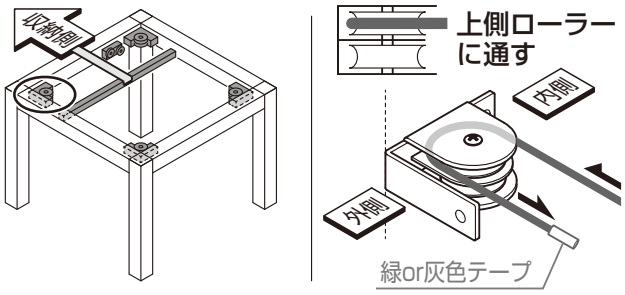
4 ～ 9 ：施工順　　：ロープ



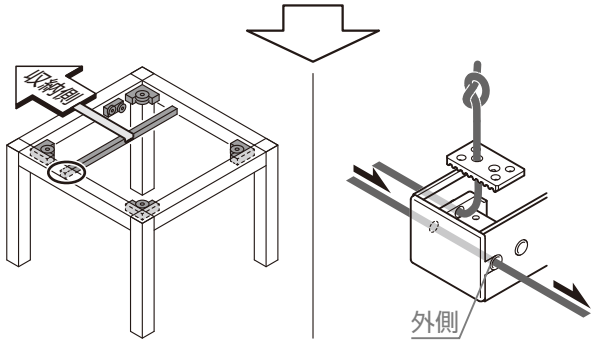
（つづき）



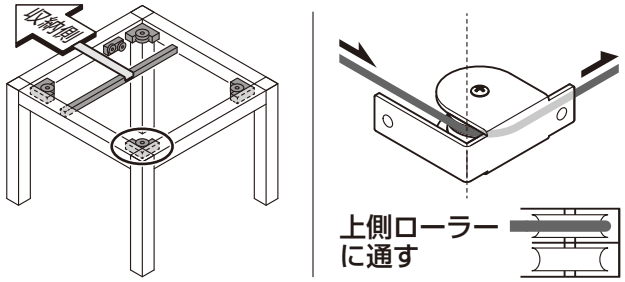
4：ロープをロープ固定プレートBに通して、端を結ぶ



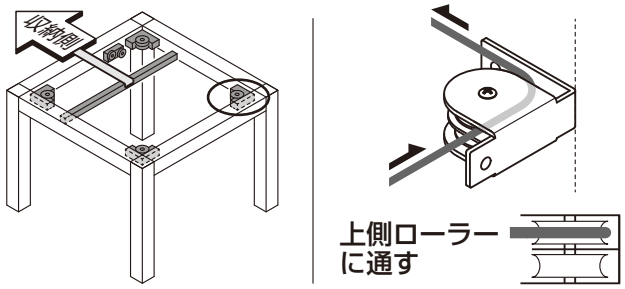
5：横ローラー金具Aの上側ローラーに内側から外側に向かって通す



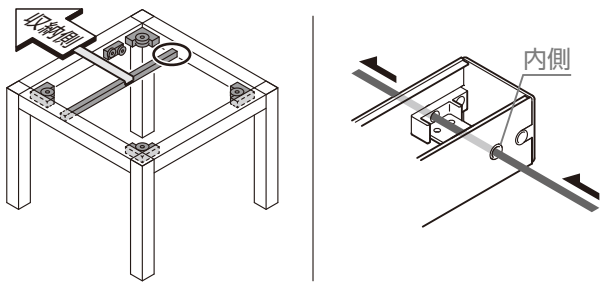
6：ロープをフロントバーの外側の穴に通す



7：横ローラー金具Bの上側ローラーに通す



8：横ローラー金具Cの上側ローラーに通す



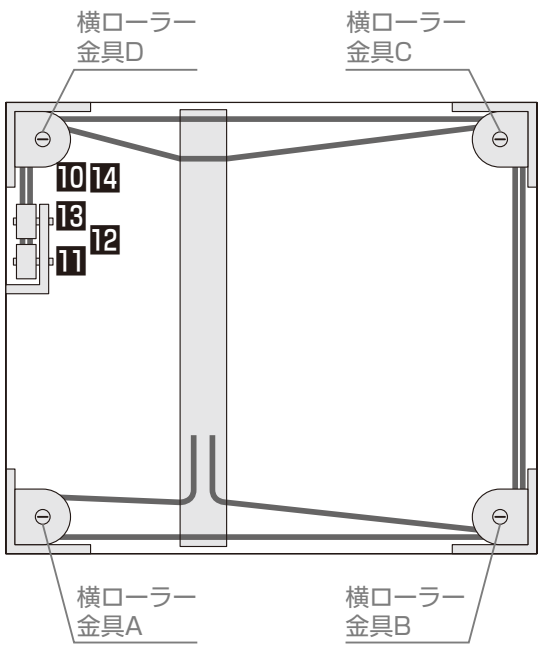
9：ロープをフロントバーの内側の穴に通す

次頁へ

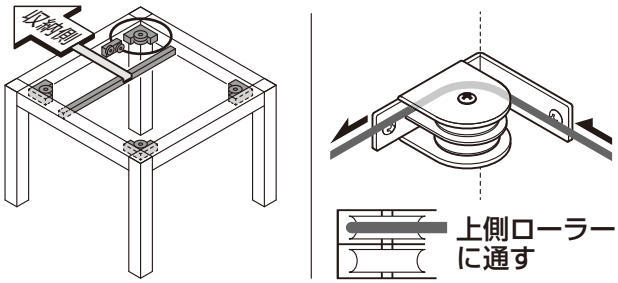
4-7 ロープの配線

つづき

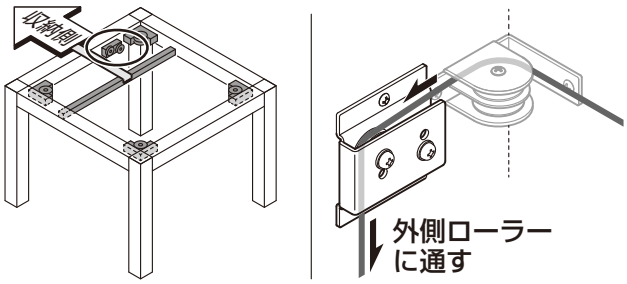
10～14：施工順　　：ロープ



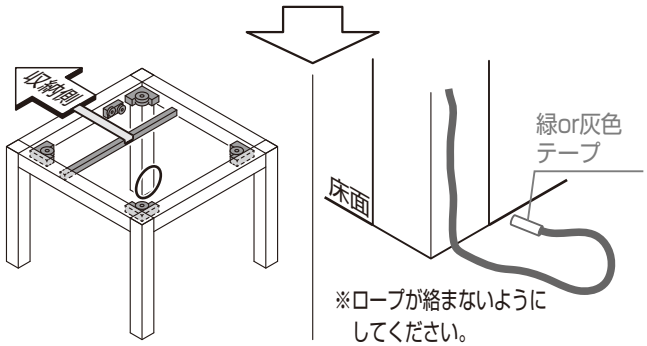
（つづき）



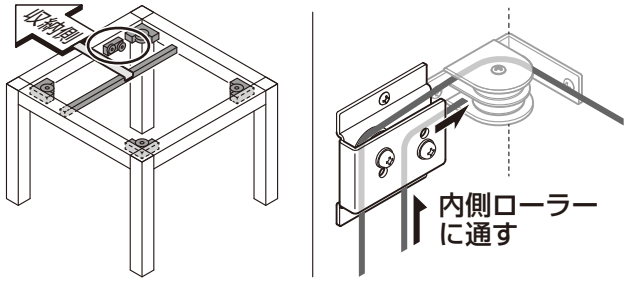
10：通したロープを横ローラー金具Dの上側ローラーに通す



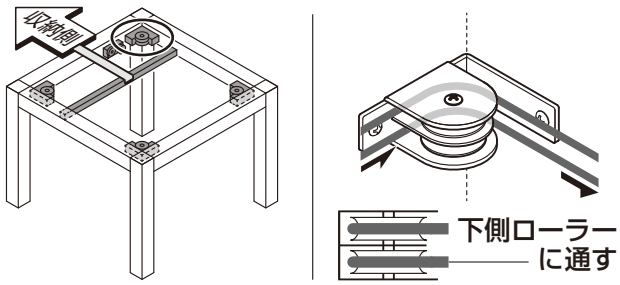
11：ロープを縦ローラー金具の外側ローラーに通す



12：11で通したロープを引っ張り、ホビンから全てのロープが出て、引っ張れなくなるまで引く



13：縦ローラー金具の内側ローラーに通す



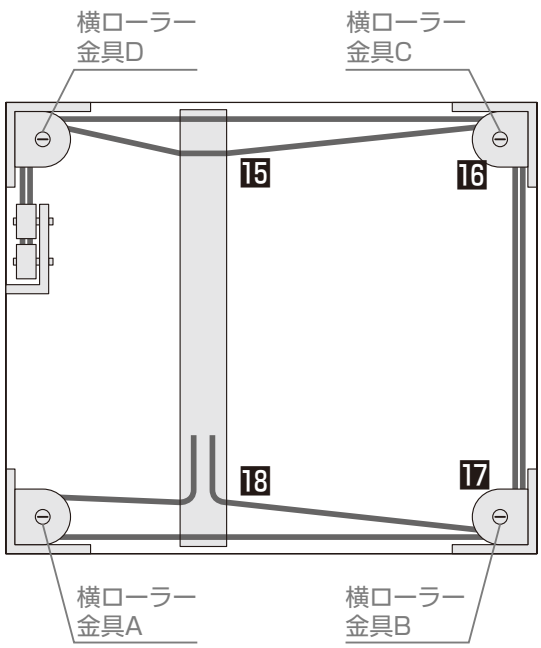
14：ロープを横ローラー金具Dの下側ローラーに通す

次頁へ

4-7 ロープの配線

つづき

15〜18：施工順　　：ロープ



●15 16の作業の場合、図4-1の様にロープが交差します。図4-2の様に2重に交差してしまうと操作に支障をきたしてしまうため、必ず図4-1のような交差になるようにしてください。

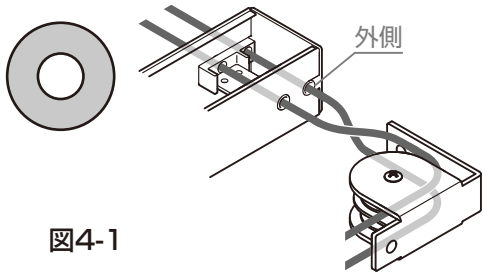


図4-1

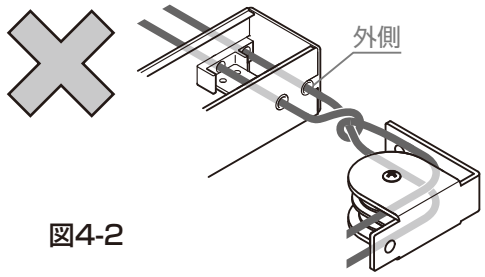
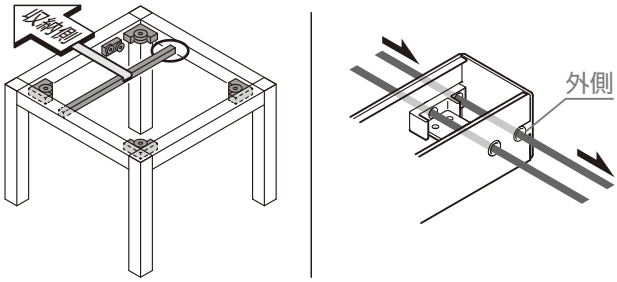
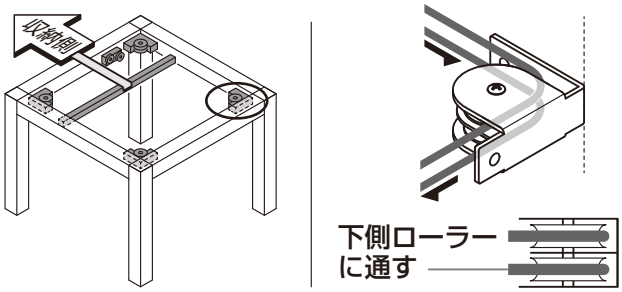


図4-2

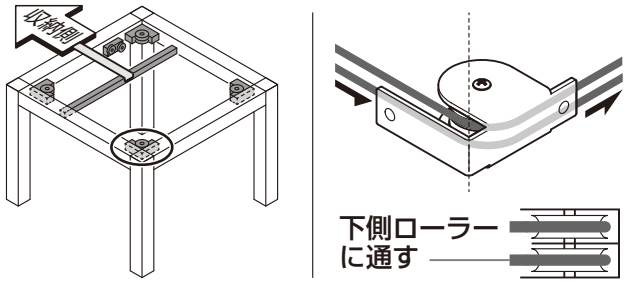
（つづき）



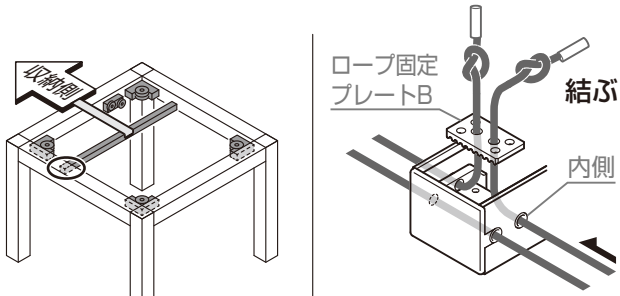
15：ロープをフロントバーの外側の穴に通す



16：横ローラー金具Cの下側ローラーに通す



17：横ローラー金具Bの下側ローラーに通す



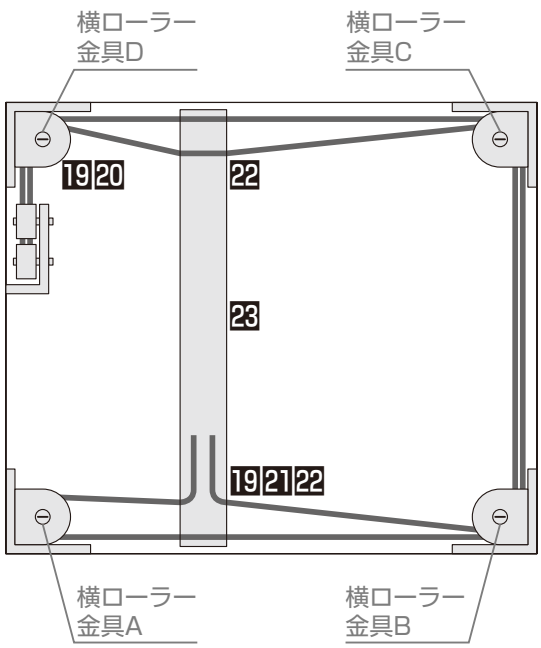
18：ロープをフロントバーの内側の穴に通してください。ロープ固定プレートBの下からロープを通して、端を結ぶ

次頁へ

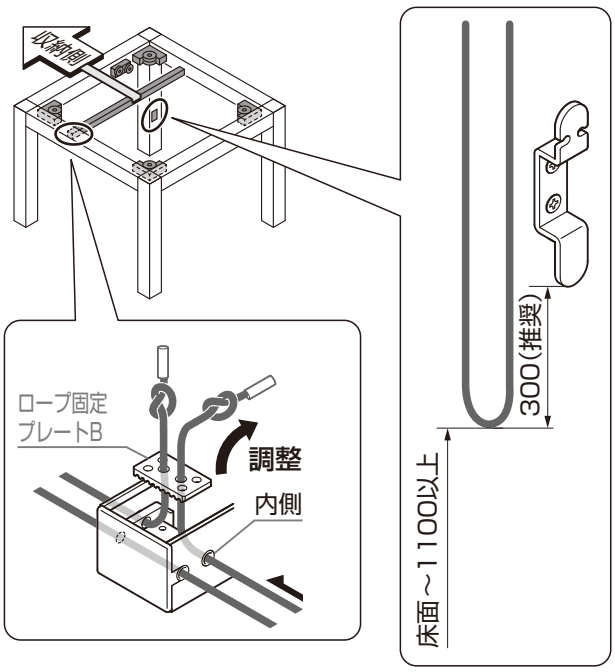
4-7 ロープの配線

つづき

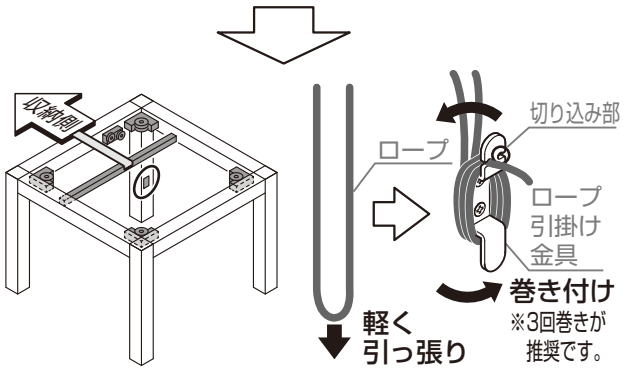
19～23：施工順　　：ロープ



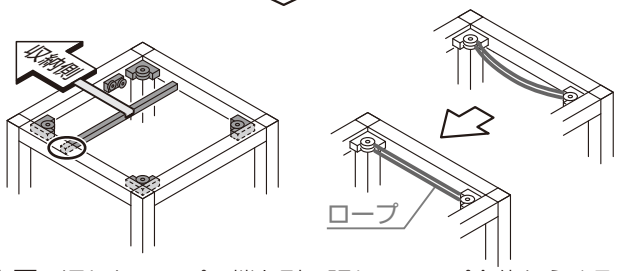
（つづき）



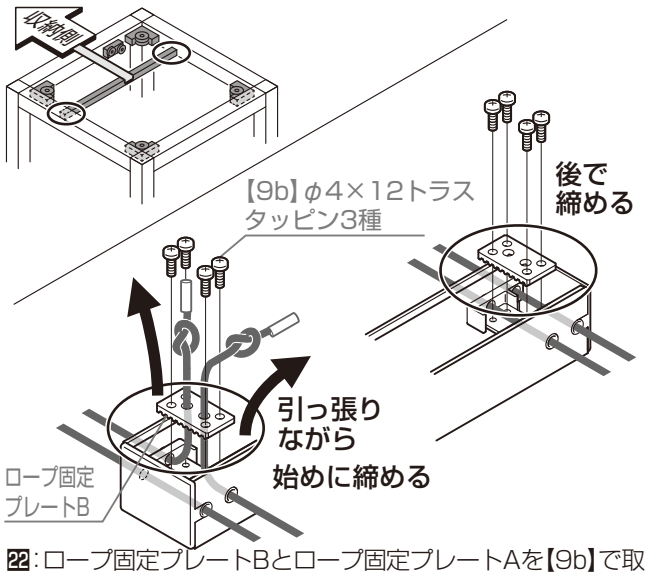
19：18で通したロープを引っ張り、縦ローラー金具から垂れているロープが床面から1100mm以上になるまで調整



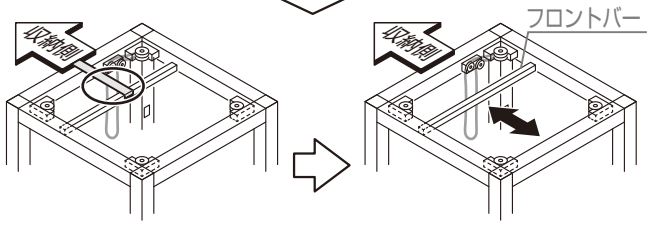
20：ロープを軽く引っ張りながら2本とも引掛け金具へ巻き付け、切り込み部へどちらか1本をはめる



21：18で通したロープの端を引っ張り、ロープ全体からゆるみ･たるみを出来るだけ無くす



22：ロープ固定プレートBとロープ固定プレートAを【9b】で取付けてください。ネジ止めの際、2つのロープを引っ張りながら対角線上の順番に止める

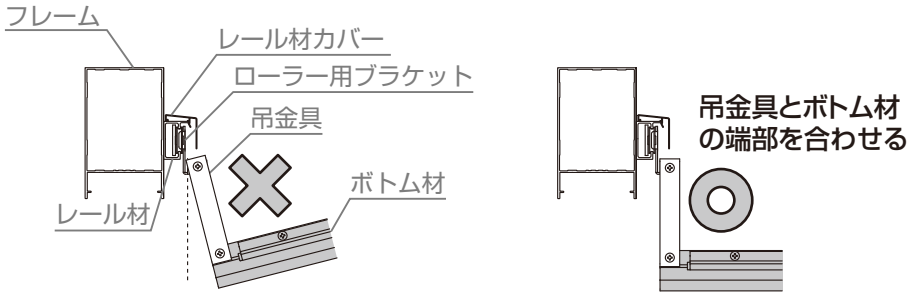


23：仮止めしていた養生テープを外し、ロープを操作してフロントバーが動くことを確認

4-8 ボトム材の取付け

施工上のお願い

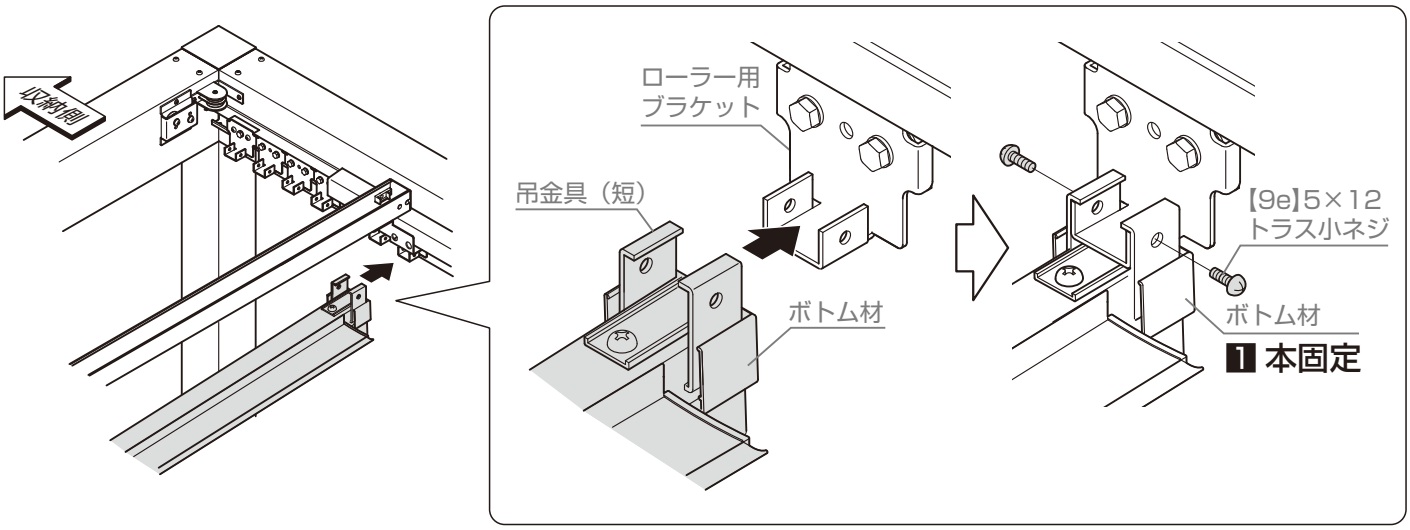
●吊金具が斜めになった状態で固定しないでください。



4-8-1 水上側 ※吊金具(短)

1:ボトム材と吊金具(短)をローラー金具に差込んで、吊金具(短)の上部【9e】を本固定

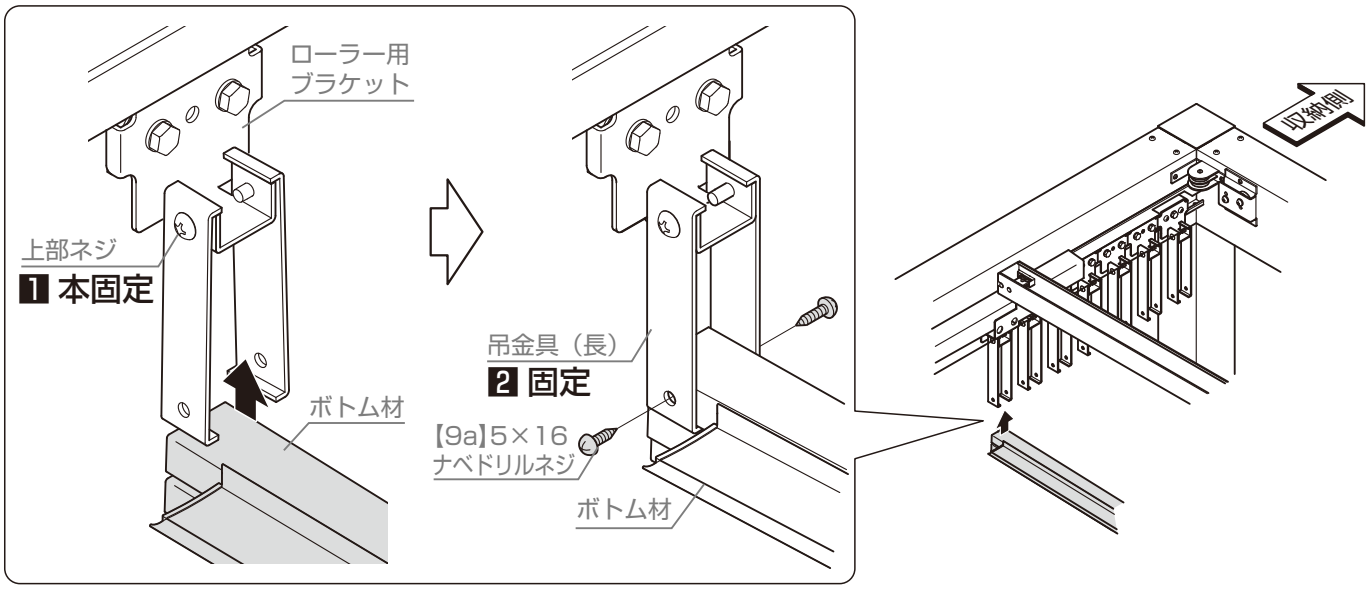
【吊金具(短)側】



4-8-2 水下側 ※吊金具(長)

1:吊金具(長)をボトム材の溝部に引っ掛けて、吊金具(長)の上部【9e】を本固定
2:吊金具(長)をボトム材に【9a】で固定

【吊金具(長)側】

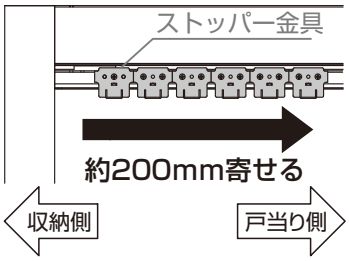


4-9 キャンバスの取付け

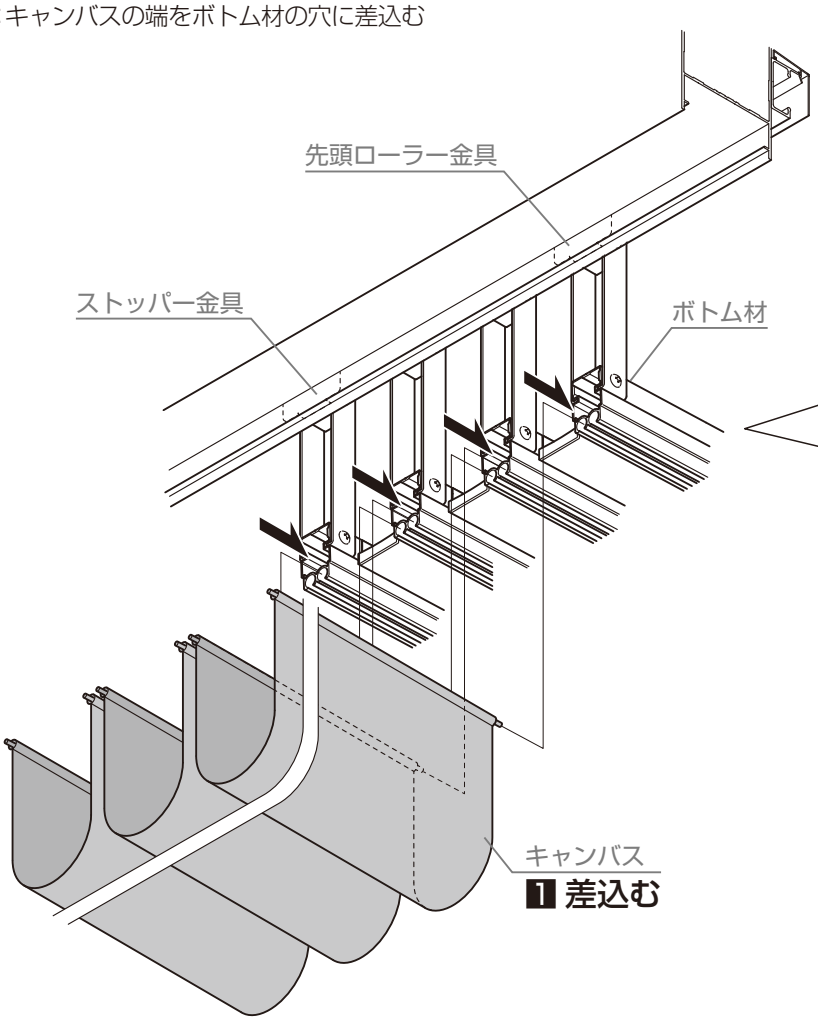
4-9-1 ボトム材へのキャンバスの取付け

施工上のお願い

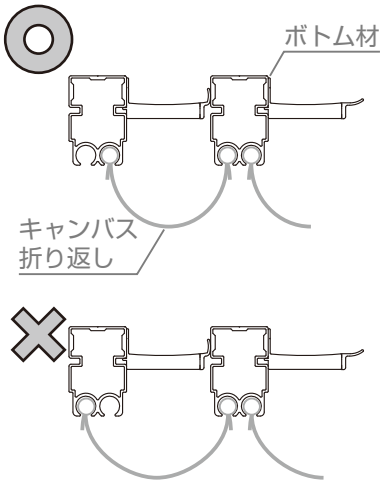
●調整用キャンバスはストッパー金具のボトム材に差込んでください。
●ストッパー金具は端に寄っているので、200mmくらい戸当り側に寄せて【ネジ】で固定してください。 寄せないままだとキャンバスがうまく張れない等の不具合となる可能性があります。



1:キャンバスの端をボトム材の穴に差込む



【キャンバスの取付け】
●キャンバスは隣接するボトム材同士に取付けてください。
●キャンバスには表裏があります。キャンバス端部の折返しが下を向くようにして取付けてください。
※ストライプ柄のキャンバスは柄が下を向くようにして取付けてください。



4-9 キャンバスの取付け

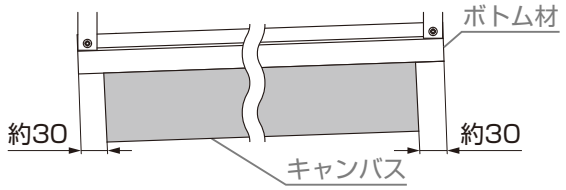
つづき

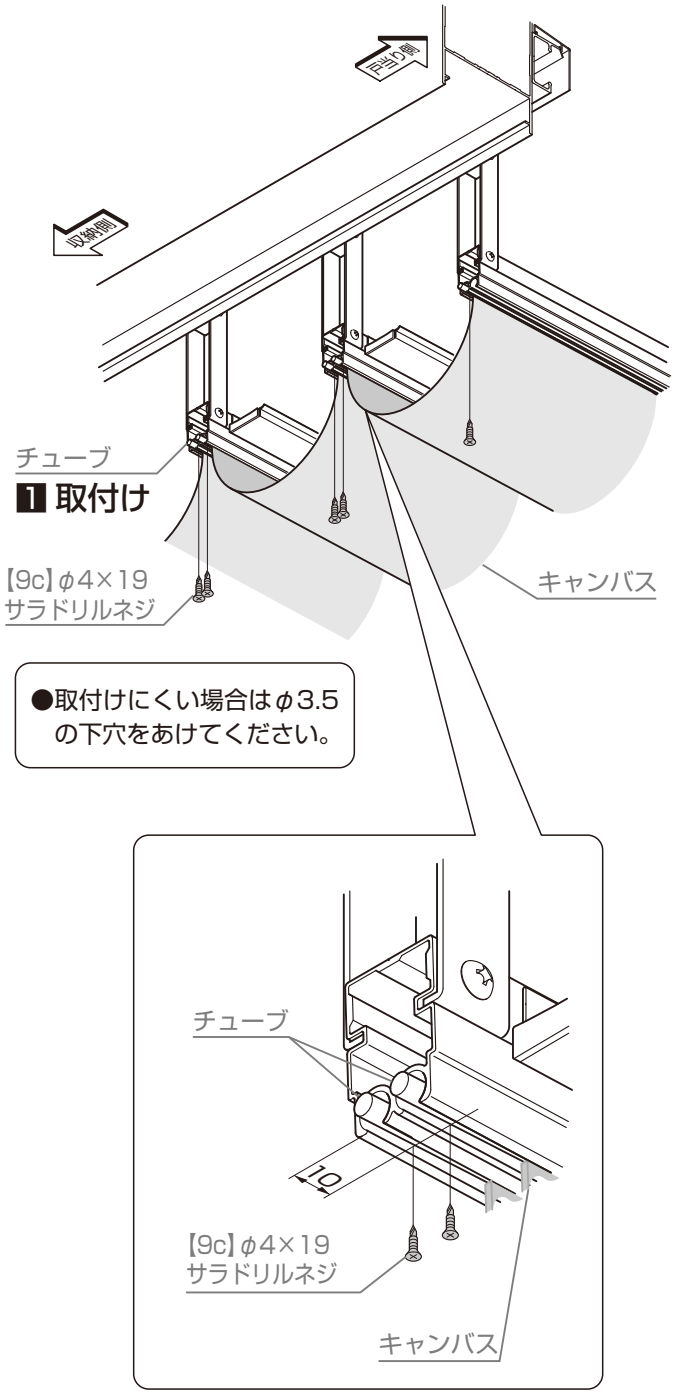
4-9-2 キャンバスの固定

1:チューブをボトム材端部から10mmの位置に【9c】でチューブごと貫通させて取付け

施工上のお願い

●キャンバスはボトム材端部より左右約30mmの位置に設置してください。

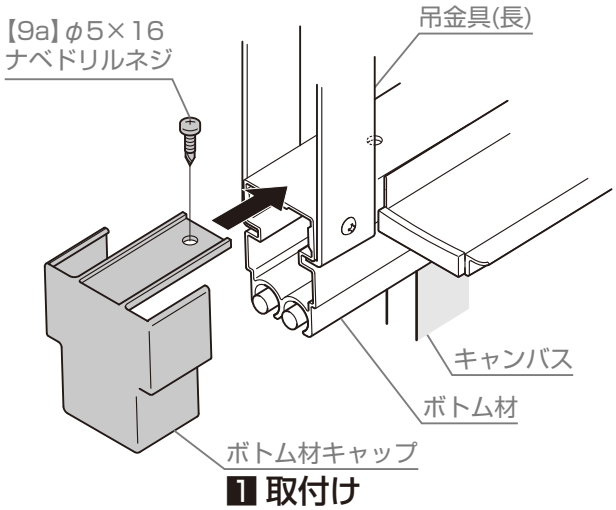




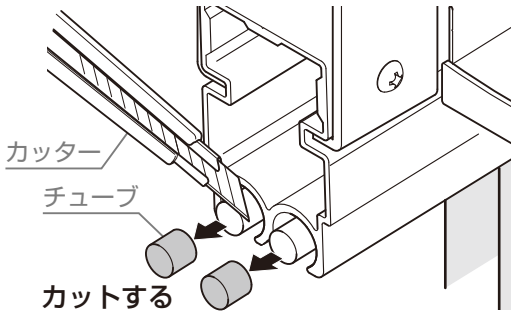
●取付けにくい場合はφ3.5の下穴をあけてください。

4-9-3 水下側ボトム材キャップの取付け

1:ボトム材からはみ出しているチューブをカットして、ボトム材キャップを【9a】で取付け



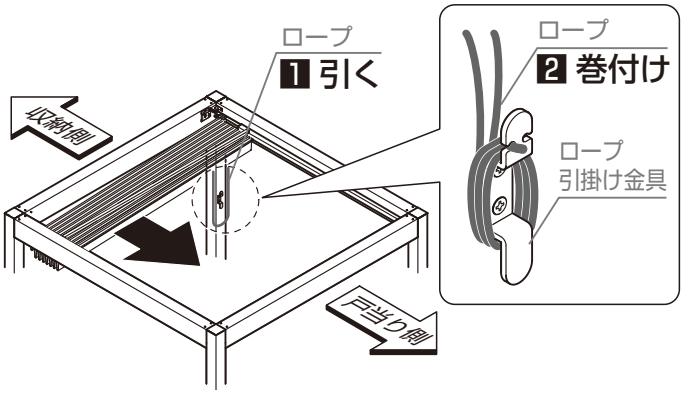
●キャップ取付け前に、ボトム材からはみ出してるチューブをカッターでカットしてください。



5-1 キャンバスの調整

5-1-1 キャンバスの張出し

1:ロープを先頭ローラー金具が戸当り側へ突き当たるまで引く
2:ロープ引掛け金具に巻付け

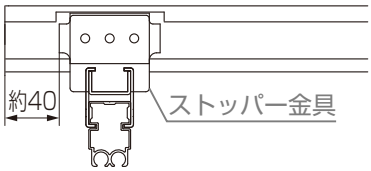


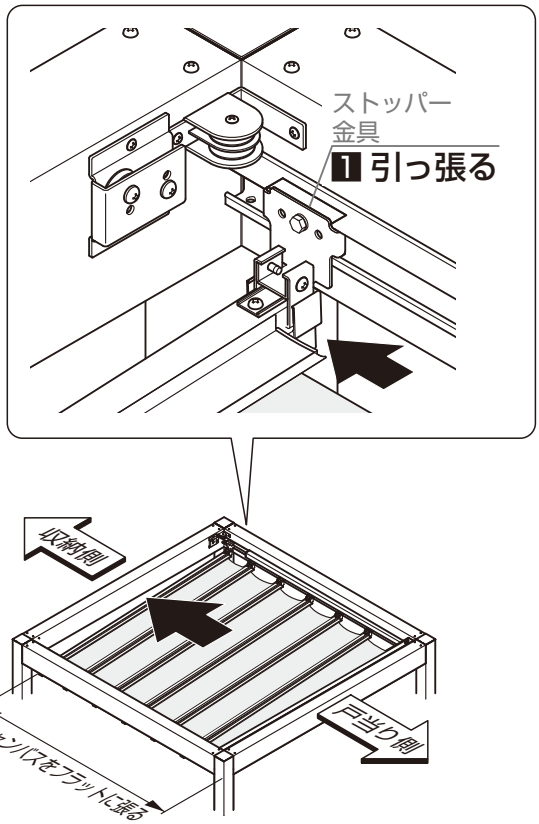
5-1-2 ストッパー金具の位置決め

1:ストッパー金具を収納側に引っ張る

施工上のお願い

●ストッパー金具の調整可能寸法は約40mmです。
※キャンバスの公差によってバラつきます。

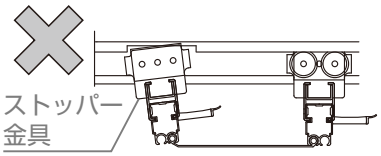




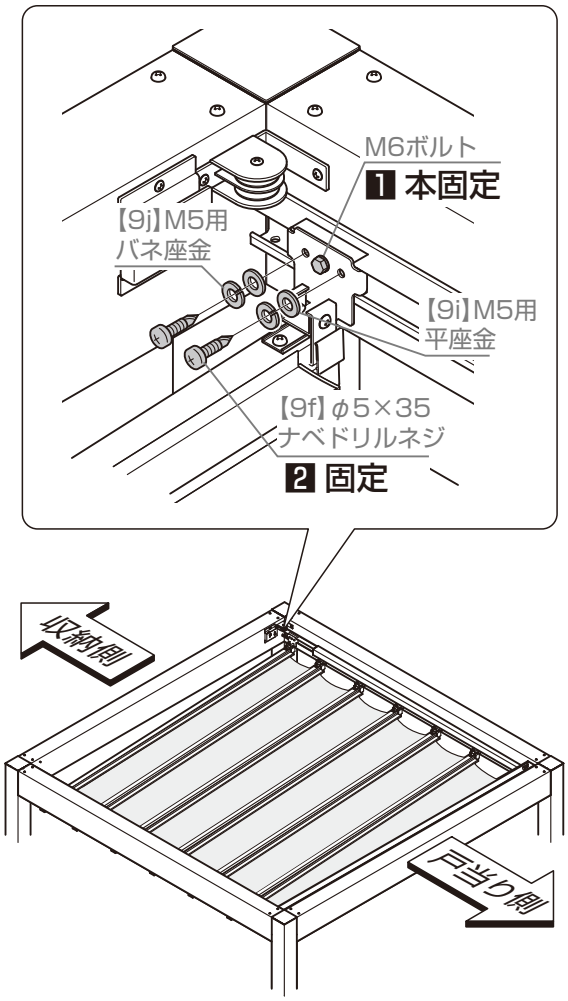
5-1-3 ストッパー金具の固定

施工上のお願い

●キャンバスにテンションを掛けているため、ストッパー金具が斜めになりやすいです。必ず斜めでなく、垂直な状態で固定してください。



1:位置が決まったところで、ストッパー金具のM6ボルトを締め付け、本固定
2:ストッパー金具の2つの穴に【9f】と【9i】【9j】で固定



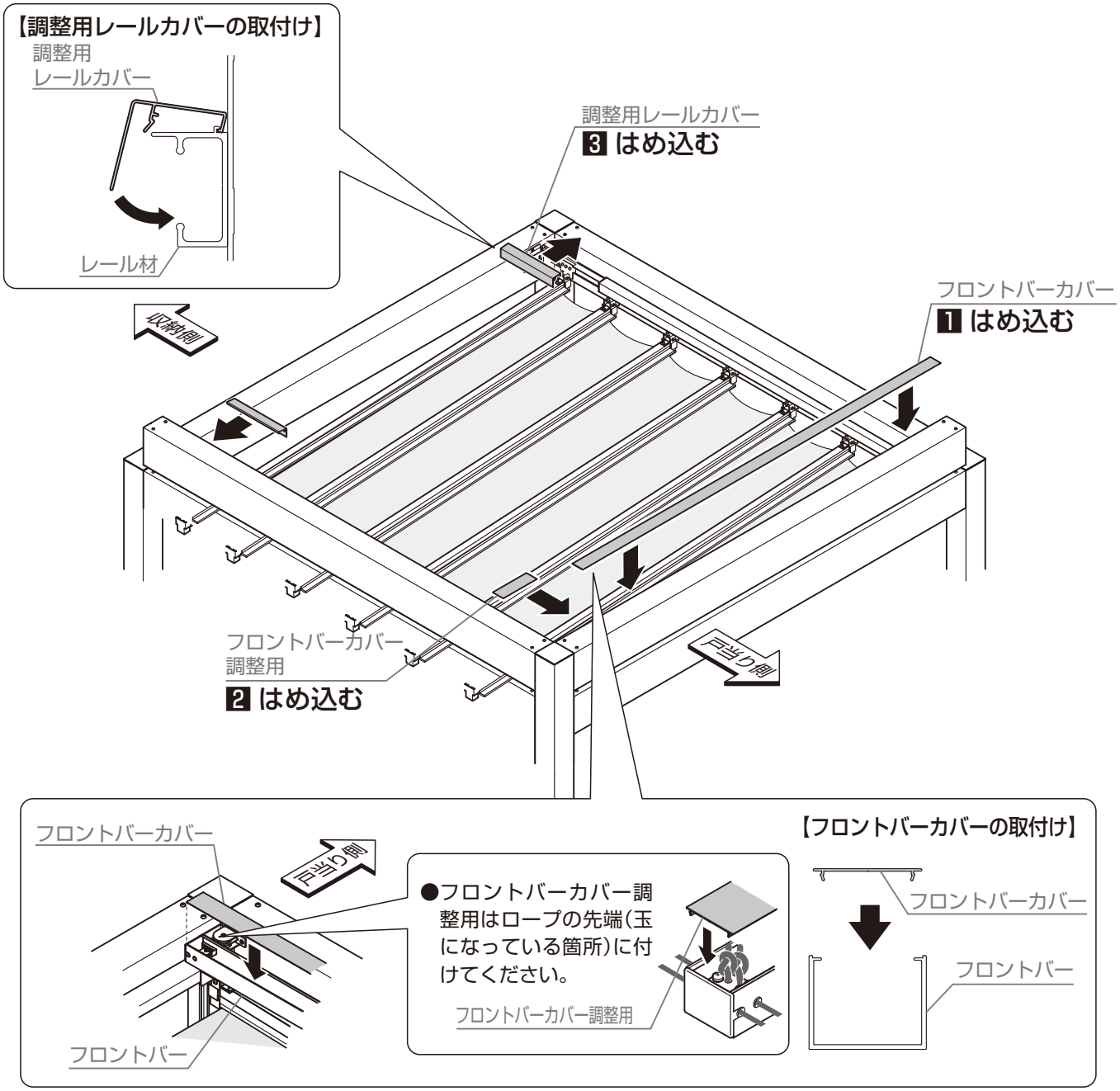
5-2 各種カバーの取付け

5-2-1 フロントカバーと調整用レールカバーの取付け

施工上のお願い

- ●カバーの外れ、脱落を防止するため、全てのカバーがきちんとはめ込まれているか必ず確認してください。
- ●入りにくい場合はあて木をしてプラスチックハンマーで叩き入れてください。

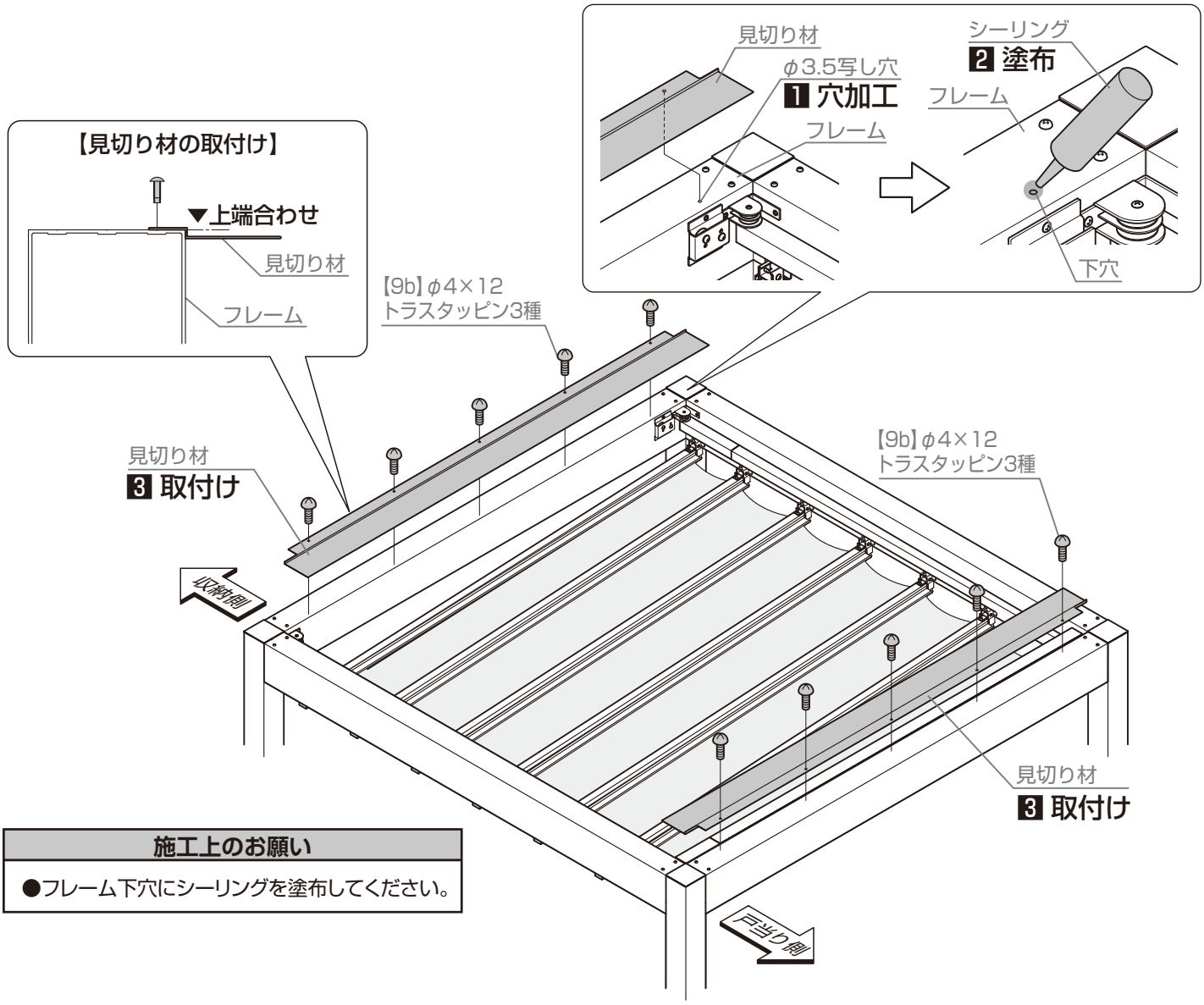
1：フロントバーカバーをフロントバーにはめ込む
2：フロントバーカバー調整用をフロントバーにはめ込む
3：調整用レールカバーをレール材にはめ込む



5-3 見切り材の取り付け

5-3-1 見切り材の取付け

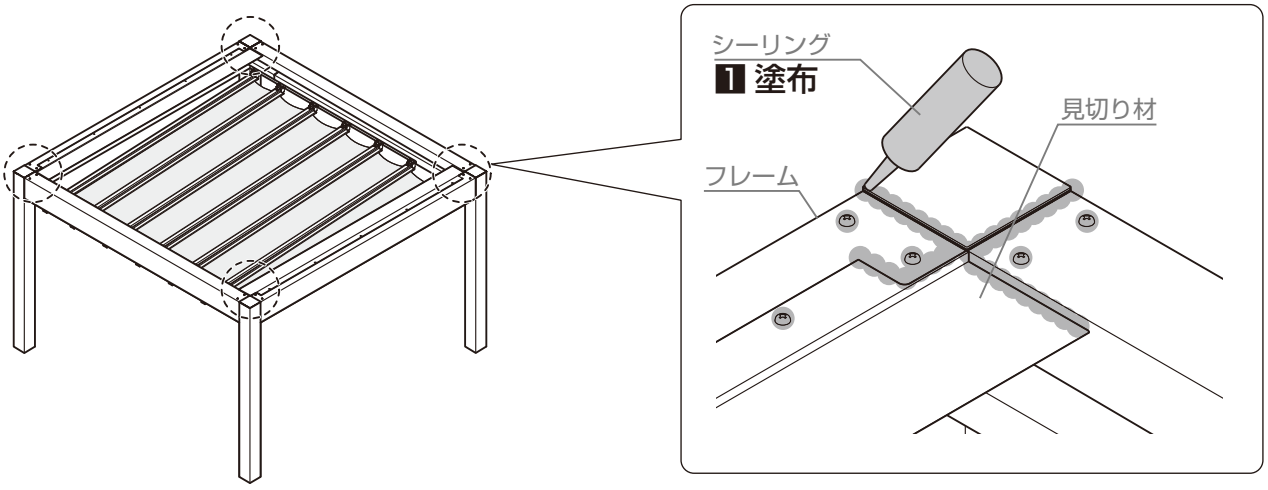
1:見切り材を、戸当り側･収納側のフレーム上端に合わせて写し穴でフレームにφ3.5の穴加工
2:フレームの下穴にシーリングを塗布
3:見切り材を、戸当り側･収納側のフレームにそれぞれ【9b】で取付け



施工上のお願い
●フレーム下穴にシーリングを塗布してください。

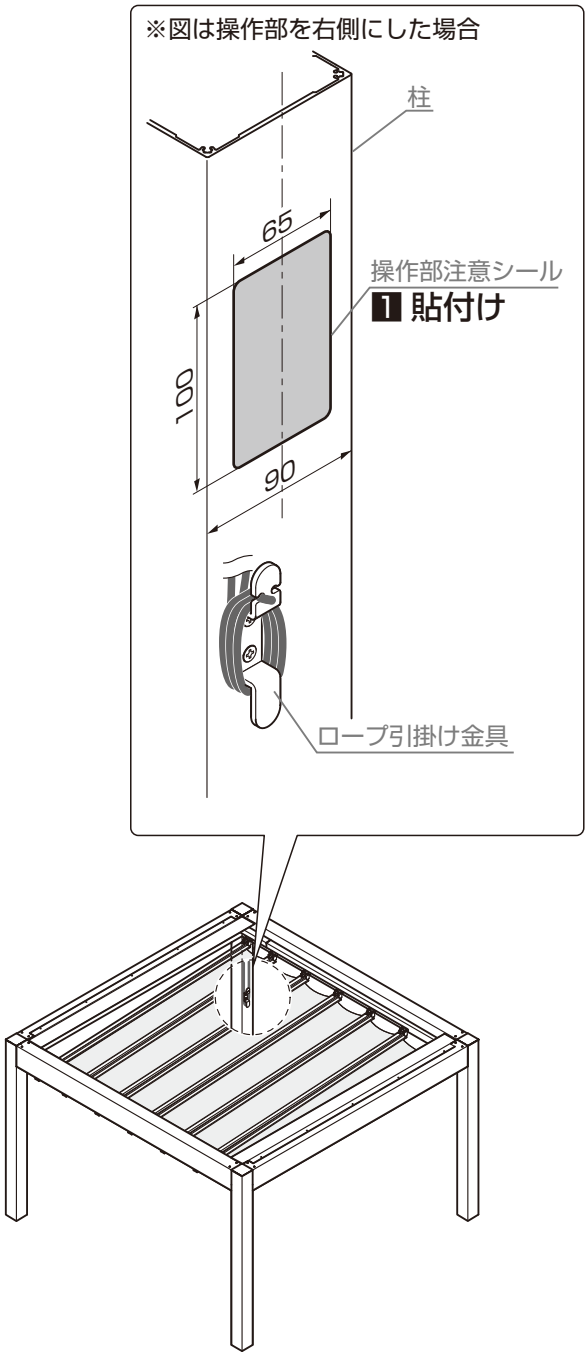
5-3-2 見切り材のシーリング

1:見切り材とフレーム上端4カ所にシーリングを塗布



5-4 操作部注意シールの貼り付け

1：操作部注意シールを柱（操作部）の見やすい位置に貼付け



メモ

メモ

メモ

取説コード
EXM-086
JZZ638307
202303_1049